

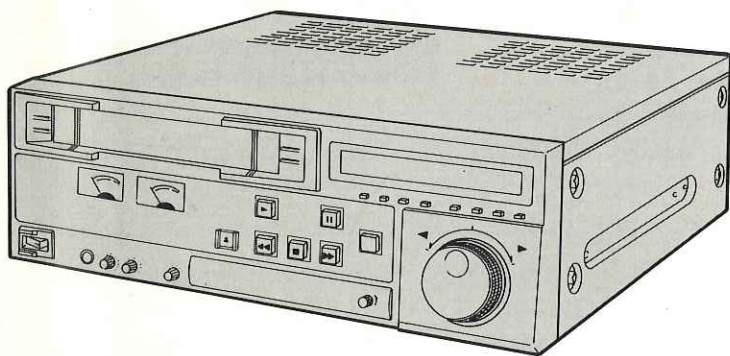
Panasonic

Hi-Fi 業務用ビデオ

品番 AG-

DS840

S-VHS



保証書別添

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店よりお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

このビデオはS-VHS方式ビデオです。S-VHS マーク、VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

著作権（録画テープの取扱い）

あなたがビデオで録画したテープは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

上手に使うって上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

取扱説明書

目次	2
安全上のご注意	4
はじめに	8
各部の名称	9
基本操作	16
各種スイッチの設定	23
TBCの調整	26
ダイヤルメニュー機能	30
タイムコード	41
接続	46
異常事態の対策	53
機能解説	55
その他	57

目次

安全上のご注意

安全上のご注意	4
---------	---

各部の名称

前面パネル	9
カウンタディスプレイ部	12
後面パネル部	13

基本操作

電源投入のしかた	16
カセット挿入のしかた	17
再生のしかた	18
サーチ操作について	20
スロー再生のしかた	21
AUTO STOP機能について	22

各種スイッチ設定

音声系のスイッチ設定	23
1. METERスイッチ	23
2. AUDIO MONITORスイッチ	23
3. AUDIO OUT SELECTスイッチ	23
映像系のスイッチ設定	24
1. DNRスイッチ	24
2. MEMORYスイッチ	24
その他のスイッチ設定	25
1. CONTROLスイッチ	25
2. DIGITAL SLOWスイッチ	25
3. ON SCREENボタン	25

TBCの調整

TBC (タイムベースコレクタ) 部の調整	26
-----------------------	----

ダイヤルメニュー機能

ダイヤルメニュー機能の操作	30
SETUP-MENU画面について	33
1. 操作・機能関係のセットアップ	33
2. 映像関係のセットアップ	34
3. 音声関係のセットアップ	36
4. スーパーインポーズ関係のセットアップ	37
5. リモート関係のセットアップ	38
6. 編集関係のセットアップ	39
7. タイムコード関係のセットアップ	40

タイムコード

タイムコード/ユーザズビットについて	41
タイムコード関係のスイッチ設定	42
タイムコード/ユーザズビットの再生	43
スーパーインポーズ画面について	44

接続

基本システムの接続	46
9P編集コントローラを使ったシステム	47
ダンピング接続	49
リモートサーチコントローラを使ったシステム	50
34P編集コントローラを使ったシステム	51
業務用M II機を使ったシステム	52

異常事態

エラー表示について	53
故障かな?と思う前に…ちょっとノ	54

機能解説

サーボリファレンスについて	55
音声出力レベル切替え	55
コネクタの信号について	56

その他

付属品と別売品のご紹介	57
日常点検について	58
アフターサービス	59
定格	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について



警告

■不安定な場所に置かない!



禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■電源コード上に重い物を乗せない!



禁止

本機の下敷にならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。

■水場に設置しない!



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください。



警告

異常時の処理について

■本機を落としたり、破損した場合は電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

■本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

●お買い上げの販売店にご相談ください。

■煙が出ている、変なにおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



火災・感電の原因となります。

●お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

電源プラグを抜く

■電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

●お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

使用方法について

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！



こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。

禁止

■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



火災・感電の原因となります。

禁止

■本機を改造しない！



火災・感電の原因となります。

分解禁止

■水場で使用しない！



火災・感電の原因となります。

水場使用禁止

■本機の裏フタ・キャビネット・カバー等はずさない！



感電の原因となります。
●点検・整備・修理は販売店にご相談ください。

分解禁止

安全上のご注意

必ずお守りください。

安全上のご注意

使用方法について

警告

■電源コードを

- 加工しない!
- 傷つけない!
- 無理に曲げない!
- ねじらない!
- 引っ張らない!
- 加熱しない!



火災・感電の原因となります。

禁止

■機器がぬれたり、水が入らないようにする!



火災・感電をおこすおそれがあります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

禁止

■表示された電源電圧以外は使用しない!



火災・感電のおそれがあります。

禁止

設置について

注意

■電源コードを熱器具に近づけない!



コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■油煙や湯気が当たる場所に置かない!



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■湿気やほこりの多い場所に置かない!



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ぬれた手でプラグを抜き差ししない!



感電の原因となることがあります。

禁止

■プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない!



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

■本機の通風孔をふさがない!



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

禁止

■電源コードを下にたささない!



ふれたり、引っかけたりすると、落ちてけがをすおそれがあります。

禁止

•本機を風通しの悪い所に押し込む。

•テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

安全上のご注意

必ずお守りください。

⚠ 注意

使用方法について

■本機の上に重い物を置かない！



禁止

バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。

■本機に乗らない！



禁止

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。

■カセットテープ挿入口に手をはさまれないよう注意する！



指に注意

手をはさまれ、けがの原因となります。

■長期間使用しない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！



電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードをはずす！



電源プラグを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
•ビデオカセットは、取り出しておいてください。

お手入れについて

■お手入れの際は安全のため、スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

■1年に1度くらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

はじめに

このたびは、
業務用高級編集機AG-DS840を
お求めいただきまして
まことにありがとうございました。

本機は、産業用、学校用、スタジオ用およびCATV送出用を対象に開発された編集用ビデオカセットプレーヤーです。

高画質

以下の機能の採用により、美しい画質が得られます。

- S-VHS方式による、高解像度で鮮明な画質
- デジタルS-VHS回路により、ダビング時のスミア、リングングを大幅に低減
- TBC (タイムベースコレクタ) による、ジッターの抑えられた画質
- DNR (デジタルノイズレデューサ) による、通常画質より1世代S/N比の良い画質
- デジタル技術により、鮮明なノイズレススローを実現

高信頼性メカニズム

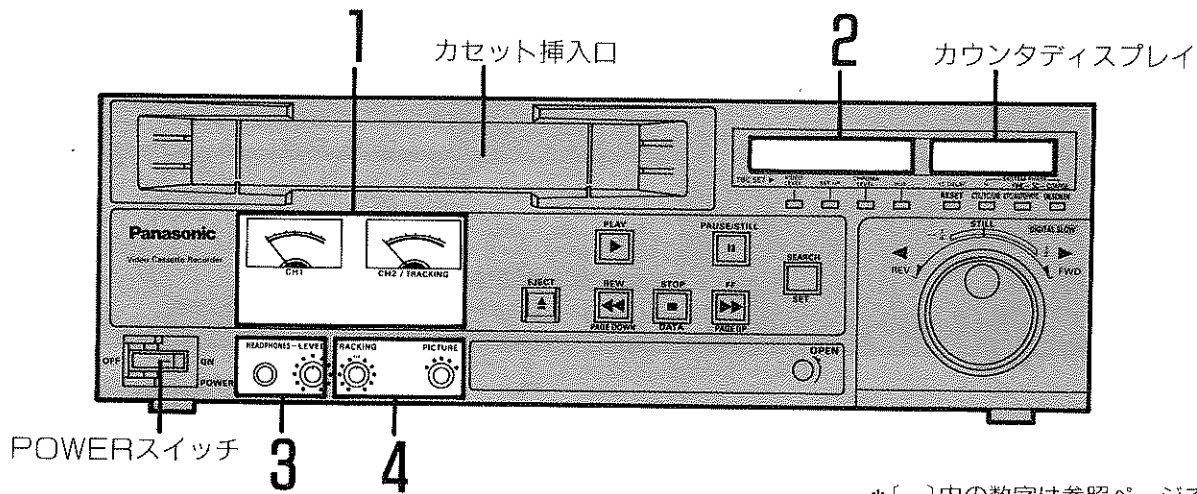
AIサーボによる大径キャプスタン、2リールモータ駆動方式、ODシリンダなどの高信頼性メカニズムの採用で高度な編集が可能になりました。

また、クリーニング機構により、ビデオヘッドのよこれなども軽減されます。

多彩なシステムアップ性

本機は、編集コントローラAG-A800 (RS-422A、9ピンシステム)、AG-A770やAG-A750 (34ピンシステム)を接続することにより、編集機の機能を十分に生かし、精度の高い自動編集を行うことができます。また、編集コントローラAG-A650、NV-A500、NV-A505などとの編集システムを組むこともできます。

前面パネル部



* []内の数字は参照ページです。

1 レベル表示部

- Audio (CH1) レベルメータ……………CH1 音声レベルを表示
- Audio (CH2) レベルメータ……………CH2 音声レベルまたはトラッキングレベル/ビデオレベルを表示

2 機能表示ランプ部

- WIDE ランプ……………WIDE テープ再生時に点灯
- カセットインランプ ([])……………カセットを挿入すると点灯
- S-VHS ランプ ([S VHS])……………S-VHS モード時に点灯
- Hi-Fi ランプ……………Hi-Fi 音声記録・再生時に点灯
- DOLBY* NR ランプ……………ドルビーNRシステム使用時に点灯
- FRAME ランプ……………フレーム・ロック時に点灯
- CH2-TC ランプ……………オーディオCH2をLTCトラックとして使用時に点灯
- SERVO ランプ……………サーボ・ロック時に点灯
- CTL/TC/UB ランプ……………選択されたカウンタ表示のモードが点灯
- LTC/AUTO/VITC ランプ……………選択されたタイムコードのモードが点灯

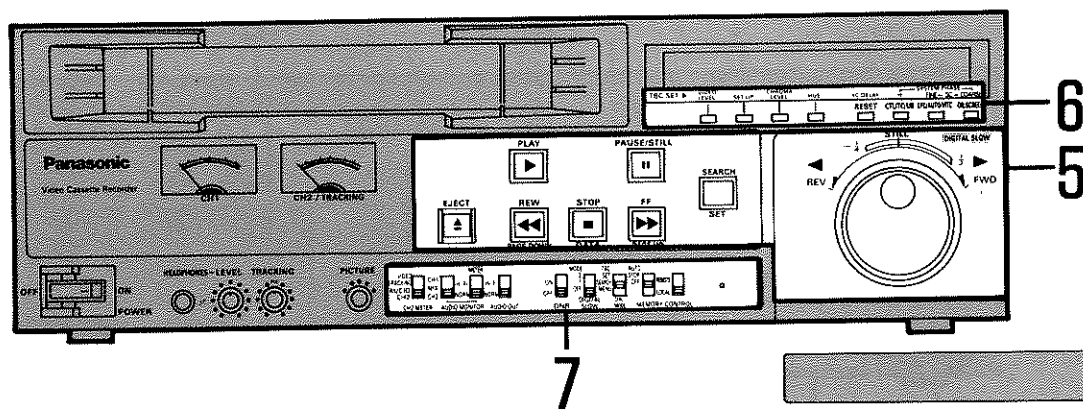
3 ヘッドホン部

- HEADPHONES 端子……………M6のステレオヘッドホン用接続端子 (19)
- HEADPHONE LEVEL 調整つまみ……………ヘッドホンの音量調整 (19)

4 画質調整部

- TRACKING 調整つまみ……………ノイズ位置を調整 (19)
- PICTURE 調整つまみ……………再生画質のソフト/シャープを調整


前面パネル部(つづき)



矢印の方向にネジを回すとカバーがとれます。

5 基本操作部

- | | |
|-------------------|--|
| PLAYボタン | 再生開始 (20) |
| PAUSE/STILLボタン | 再生時は静止画 |
| EJECTボタン | カセットの取出し |
| REW(PAGE DOWN)ボタン | テープの巻戻し、MENUモード時はページダウン (30) |
| STOP(DATA)ボタン | すべての動作の停止、MENUモード時はデータ設定 (31) |
| FF(PAGE UP)ボタン | テープの早送り、MENUモード時はページアップ (30) |
| SEARCH(SET)ボタン | サーチの実行・解除、MENUモード時はメニュー設定、TBC SET時は標準レベルに設定(16)(17)(25)(32) |
| SEARCH/JOGダイヤル | サーチ速度の調整 (外側ダイヤルはSHUTTLEモード、内側ダイヤルはJOGモード)、MENUモード時はメニュー選択、TBC SET時はレベル設定 (20)(21)(27)(30) |

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

6 TBCモード設定部

- VIDEO LEVELボタン……………TBCモード時はビデオレベルの設定 (29)
- SET UPボタン……………TBCモード時はセットアップレベルの設定 (29)
- CHROMA LEVELボタン……………TBCモード時はクロマレベルの設定 (27)
- HUE ボタン……………TBCモード時はヒューの設定 (27)
- RESET(YC DELAY)ボタン……………カウンタのリセット、TBCモード時はYCディレー
の設定 (22) (27) (43)
- CTL/TC/UB(SYSTEM H PHASE)ボタン……………カウンタ表示モードの切替、TBCモード時はシステ
ムHフェーズの設定 (27) (42) (43)
- LTC/AUTO/VITC(SYSTEM SC PHASE FINE)ボタン…タイムコード読み取りモードの切替、TBCモード時
はシステムSCフェーズ微調の設定 (27) (42) (43)
- ON SCREEN(SYSTEM SC PHASE COARSE)ボタン…モニターテレビにデータを表示、TBCモード時はシ
ステムSCフェーズ粗調の設定 (25) (27)

7 機能設定部

- CH2 METERスイッチ……………トラッキング/ビデオメータとオーディオCH2の切替
- AUDIO MONITORスイッチ……………モニタ音声のチャンネルを選択 (23)
- AUDIO MONITOR(METER)スイッチ……………モニタ音声の種類を切替 (23)
- AUDIO OUTスイッチ……………出力音声の種類を切替 (23)
- DNRスイッチ……………DNR作動スイッチ(Y、Cそれぞれのレベルはセット
アップメニュー画面で設定) (24)
- DIGITAL SLOWスイッチ……………デジタルスローの設定とダイヤルの速度モードを
変更 (20) (21) (25)
- DIAL MODEスイッチ……………サーチダイヤルのモードを切替 (17) (20) (21) (27) (30)
- MEMORYスイッチ……………CONTROLスイッチ「LOCAL」時はメモリモ
ードの切替え、CONTROLスイッチ「REMOTE」時は
編集時の切替(34ピンコントローラのみ) (22) (24) (34)
- CONTROLスイッチ……………リモート/ローカルの切替 (25) (43)

カウンタディスプレイ部

DIAL MODEスイッチが「SEARCH」の場合

CTL/TC/UB ボタン	カウンタディスプレイ表示	備考
CTL	- 8 : 88 : 88 : 88	■部分は、 DFで (.) NDFで (:) CTL補間時で () に なります。
TC	88 : 88 : 88 : 88	
UB	88 88 88 88	

DIAL MODEスイッチが「MENU」の場合

モード	カウンタディスプレイ表示	備考
SELECT PAGE	5U : 88 88	■部分は、点滅表 示です。
SET PAGE	5U : 88 88 . 88	
TC PRESET	88 : 88 : 88 : 88	入力桁が点滅表示しま ず。
UB PRESET	88 88 88 88	

アワーメータのディスプレイ表示

RESETボタンを押している間以下の項目が交互に表示されます。

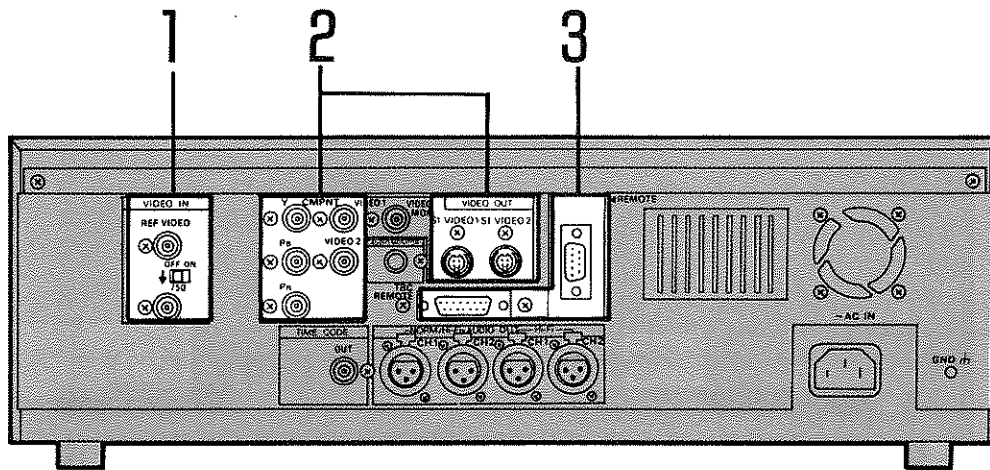
モード	カウンタディスプレイ表示	備考
キャプスタン 回転積算時間	c 88 88 8H	CONTROLスイッチをREMOTE側 にして、DIAL MODE スイッチをMENU側 にします。
総ドラム 回転積算時間	d 88 88 8H	

VITC POSITION表示

RESETボタンを押している間以下の項目が表示されます。

モード	カウンタディスプレイ表示	備考
VITCの位置が読み 取れた場合	88 . 88 L	CONTROLスイッチを REMOTE側にして、 DIAL MODE スイ ッチをSEARCH側 にします。
VITCの位置が読み 取れなかった場合	- - . - - L	

後面パネル部



各部の名称

* ()内の数字は参照ページです。

1 映像入力信号部

REF VIDEO IN端子 ————— 外部基準信号（ブラックバーストやカラーバー信号）の
入力端子（ループスルー75Ω終端スイッチ付）

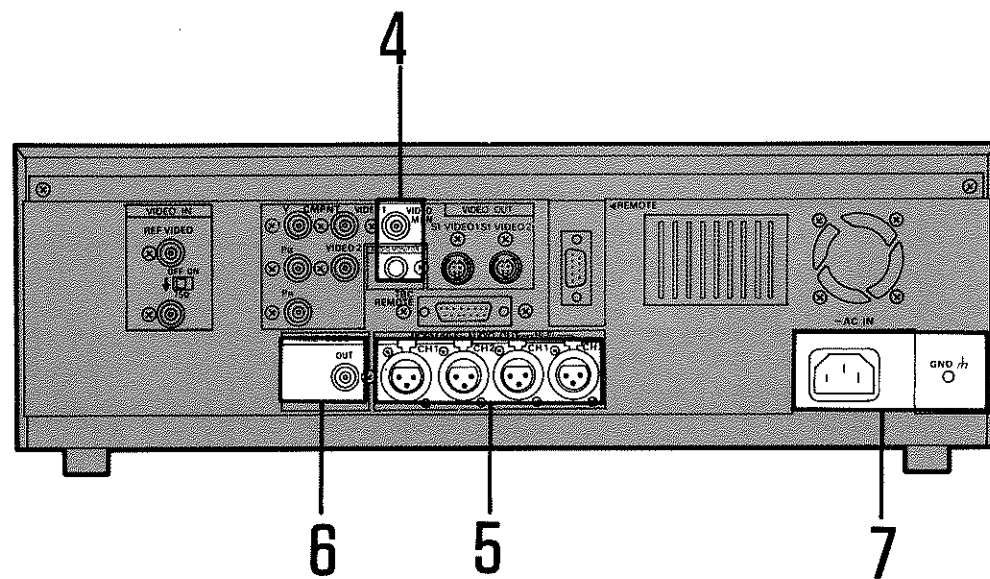
2 映像出力信号部

SI-VIDEO OUT (1,2) 端子 ————— SI-VIDEO信号の出力端子 (49)
VIDEO OUT (1,2) 端子 ————— 映像信号の出力端子
COMPONENT OUT端子 ————— コンポーネント信号の出力端子

3 リモート信号部

TBC REMOTE端子 ————— TBCリモートコントローラの接続端子 (27)
REMOTE 9P端子 ————— 編集コントローラ (9P) などの接続端子 (47)

後面パネル部 (つづき)



各部の名称

4 モニタ出力信号部

VIDEO MONITOR端子 ————— 映像モニタ信号の出力端子
AUDIO MONITOR端子 ————— 音声モニタ信号の出力端子

5 音声出力信号部

NORM/Hi-Fi音声出力端子 ————— NORM/Hi-Fi音声 (CH1/2) の出力端子
Hi-Fi出力端子 ————— Hi-Fi音声専用出力端子

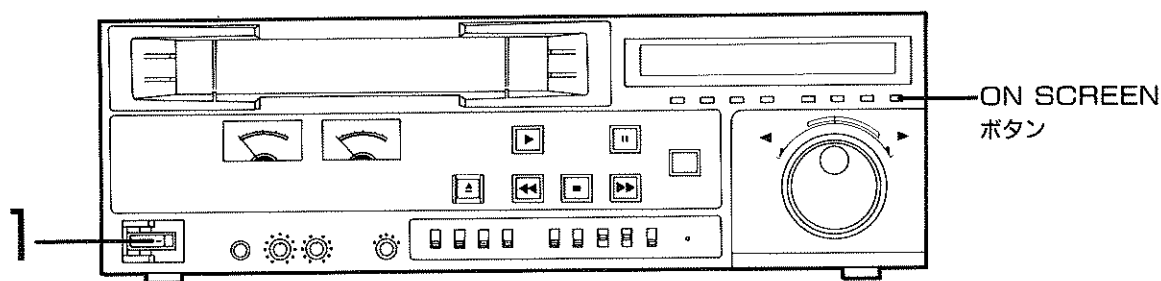
6 タイムコード信号部

TIME CODE OUT端子 ————— タイムコード信号の出力端子

7 電源回路部

- シグナルGND端子 ————— ノイズ軽減のため接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。
- AC IN端子 ————— AC100Vの電源コンセントに接続

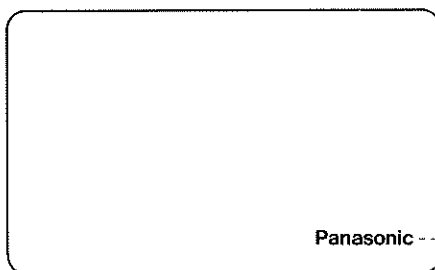
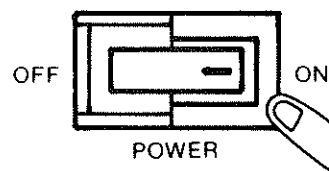
電源投入のしかた



1 POWERスイッチを押します。

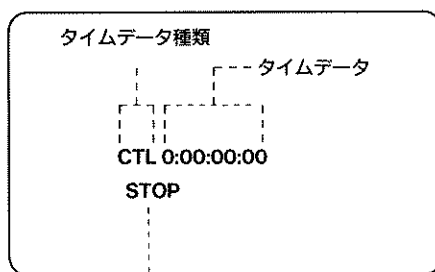
電源が入ります。

- 後面のVIDEO MONITOR OUT端子からの映像に、「Panasonic」のロゴをスーパーインポーズします。



-----カセットがすでに挿入されている場合は表示されません。

- カセットを挿入すると、表示は消えます。
(ON-SCREENボタンを押すと、以下のような表示になります。)

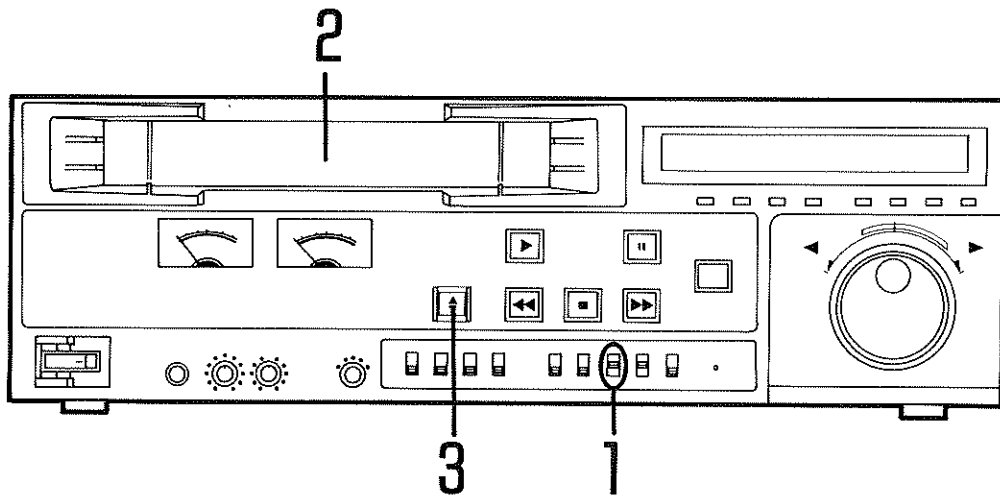


VTRの動作モード

VTRの動作モードは、ダイヤルメニュー機能の項目(No. 4004)が「ON」の場合のみ表示されます。

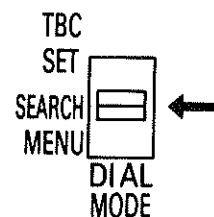
ノート ■エラー表示がディスプレイに出ている場合は、ただちに操作を止め59ページをお読みください。

カセット挿入のしかた



1 DIAL MODEスイッチを「SEARCH」側にします。

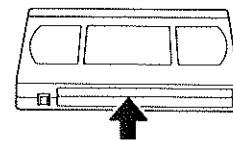
■DIAL MODEスイッチが「MENU」側になっていると、ダイヤルメニュー機能以外の操作は行えなくなり、「TBC SET」側になっていると、PLAY、STOP、FF、REW、EJECT、PAUSE以外の操作は行えなくなります。



2 カセットテープを挿入するには

カセット挿入口にカセットを入れ、カセットの中央部をゆっくり押します。

カセットインランプが表示管に点灯します。

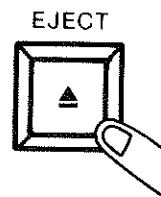


3 カセットテープを取り出すには

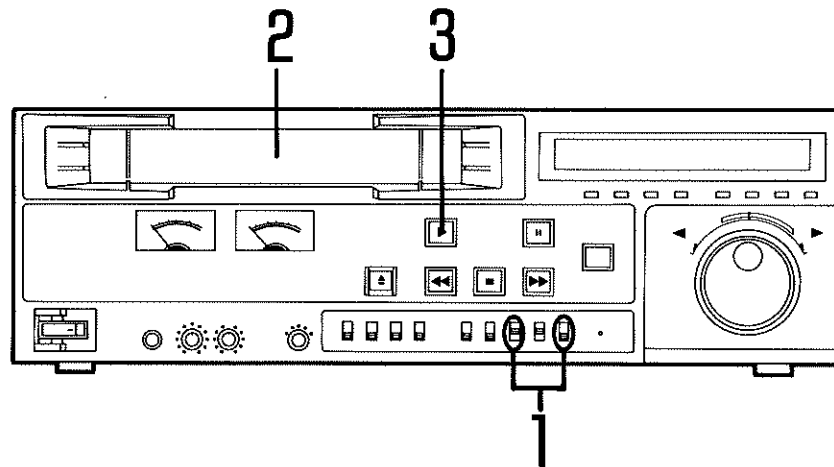
EJECTボタンを押します。

カセットが出てきますので、まっすぐに引き抜いてください。

カセットインランプが消灯します。



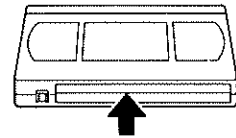
再生のしかた



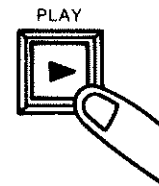
1 各スイッチ設定をします。(23~25ページ参照)
CONTROLスイッチ ⇨ 「LOCAL」

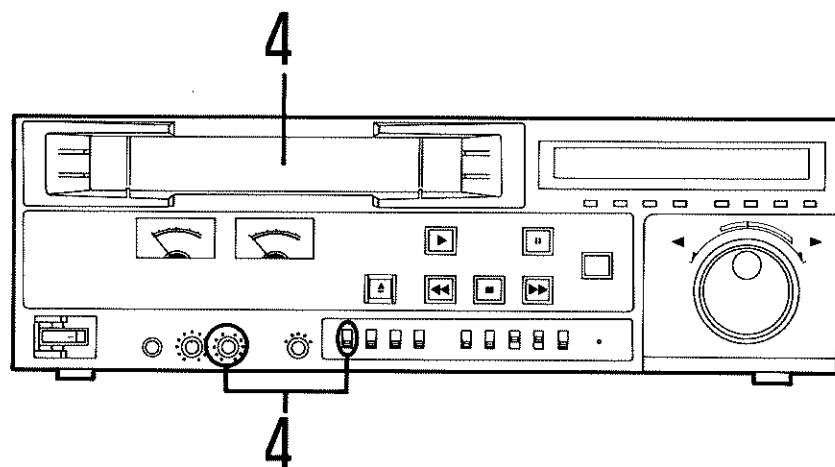
DIAL MODEスイッチ ⇨ 「SEARCH」

2 カセットを挿入します。(17ページ参照)
既に、映像・音声記録させているテープを挿入します。



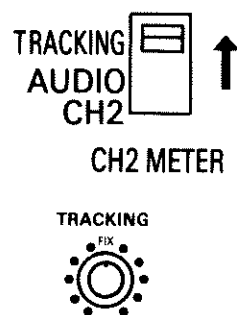
3 PLAYボタンを押します。
再生が開始されます。





4 トラッキングを調整します。

- (1) CH2 METERスイッチを「TRACKING」側にします。
- (2) 通常は TRACKING調整つまみを中央のFIX点で再生を行ってください。
- (3) 本機以外のVTRで記録されたテープを再生する場合 TRACKING調整つまみをゆっくり左右に回し、TRACKINGメータの針が最大になるように調整します。

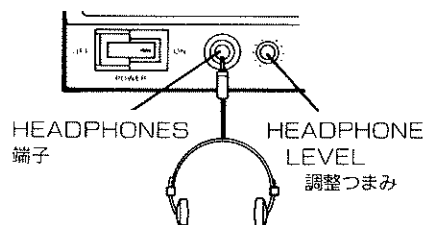


ノート ■ドルビーNRシステムで記録されたテープを再生する場合は、ダイヤルメニュー機能でドルビーNRシステムONの設定をします。(36ページ参照)

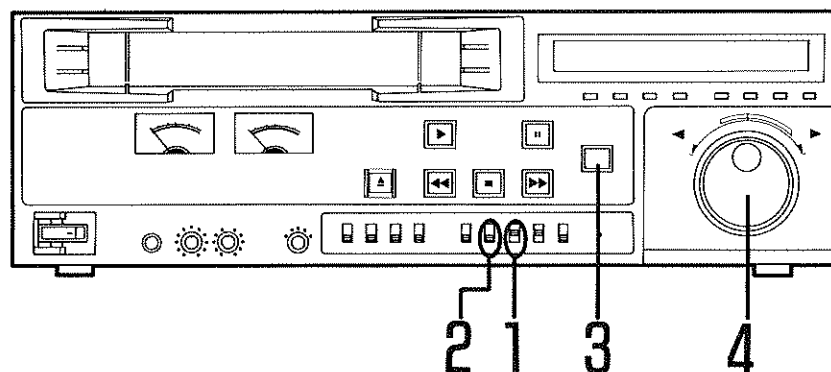
■再生時にトラッキングがずれると、Hi-Fi音声記録されていても、Hi-Fiランプは消灯しHi-Fi音声は出力されません。

■ヘッドホンを使用する場合
ハインピーダンスのヘッドホンを接続すると、音量レベルが変わる場合があります。

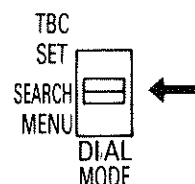
■外部同期信号に同期させて再生する場合は、ダイヤルメニュー機能の「SYNC」を「EXT」(項目NO.1001)にしてください。



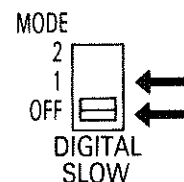
サーチ操作について



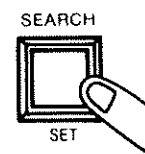
- 1** DIAL MODEスイッチが「SEARCH」側であることを確認してください。



- 2** DIGITAL SLOWスイッチを「OFF」または「1」側にします。



- 3** SEARCHボタンを押します。
SEARCHボタン、PLAYボタン、PAUSE/STILLボタンが点灯し、サーチ可能状態になります。



- 4** サーチダイヤルを操作します。

内側ダイヤルのJOGモードと外側ダイヤルのSHUTTLEモードがあります。

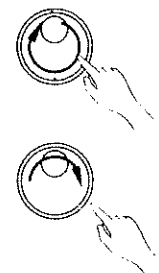
■右に回すと正方向再生 (FWDランプ点灯)、左に回すと逆方向再生 (REVランプ点灯) になります。

(1) JOGモードの場合

外側ダイヤルの位置を中央にします。内側ダイヤルを回す速度に応じて、静止画～±1倍速再生まで操作できます。回転を止めると、常に静止画像になります。

(2) SHUTTLEモードの場合

外側ダイヤルの回す角度に応じて、0～±32倍速まで再生速度を操作できます。(ただし、テープの始末端付近では、テープ保護のため低速サーチ状態になります。) 中央位置 (クリック点) では静止画像になります。

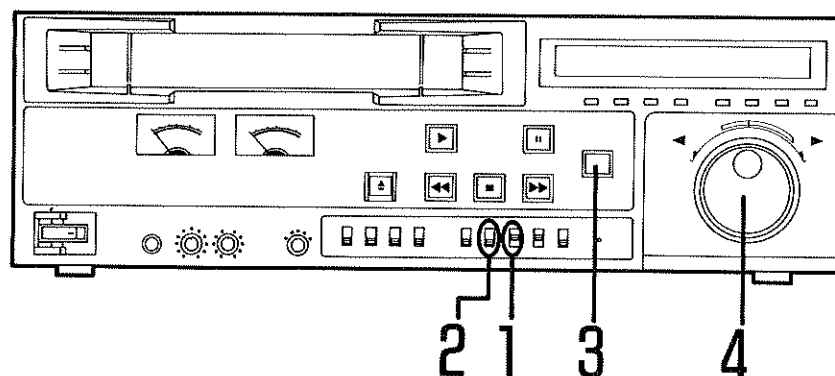


ノート ■CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしておきます。

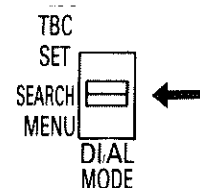
■SHUTTLEモードの場合、再度電源を入れたときは、ダイヤルを中央位置 (クリック点) まで一度戻してから操作してください。

■ダイレクトサーチモードを設定する場合は、ダイヤルメニュー機能「DIRECT SEARCH」(項目NO.1005) を「ON」にします。(33ページ参照)

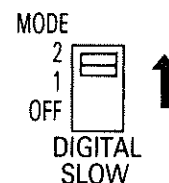
スロー再生のしかた



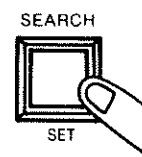
- 1** DIAL MODEスイッチが「SEARCH」側であることを確認してください。



- 2** DIGITAL SLOWスイッチを「2」側にします。

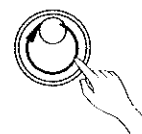


- 3** SEARCHボタンを押します。
SEARCHボタン、PLAYボタン、PAUSE/STILLボタンが点灯し、サーチ可能状態になります。

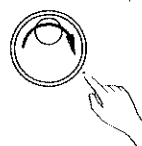


- 4** サーチダイヤルを操作します。
内側ダイヤルのJOGモードと外側ダイヤルのSHUTTLEモードがあります。
■右に回すと正方向再生（FWDランプ点灯）、左に回すと逆方向再生（REVランプ点灯）になります。

- (1) JOGモードの場合
外側ダイヤルの位置を中央にします。内側ダイヤルを回す速度に応じて、 $-\frac{1}{4}$ 倍速から+1倍速再生まで操作できます。回転を止めると、常に静止画像になります。

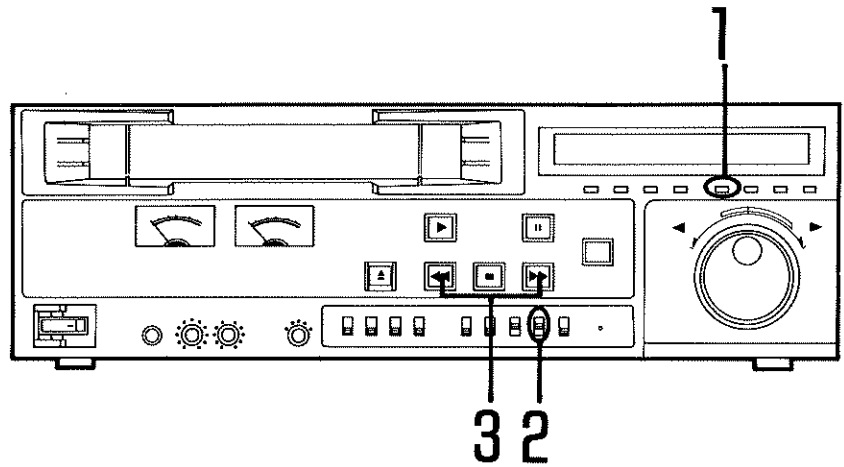


- (2) SHUTTLEモードの場合
外側ダイヤルの回す角度に応じて、 $-\frac{1}{4}$ 倍速から+1倍速再生まで操作できます。



- ノート ■CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしておきます。
■SHUTTLEモードの場合、再度電源を入れたときは、ダイヤルを中央位置（クリック点）まで一度戻してから操作してください。
■ダイレクトサーチモードを設定する場合は、ダイヤルメニュー機能「DIRECT SEARCH」（項目NO.1005）を「ON」にします。（33ページ参照）
■逆方向再生では、ノイズが発生する場合があります。

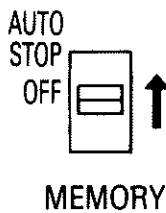
AUTO STOP機能について



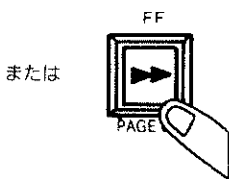
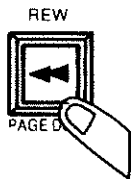
- 1 自動停止させたい位置でRESETボタンを押します。
テープカウンタが「0:00:00」になります。



- 2 MEMORYスイッチを「AUTO STOP」側にします。

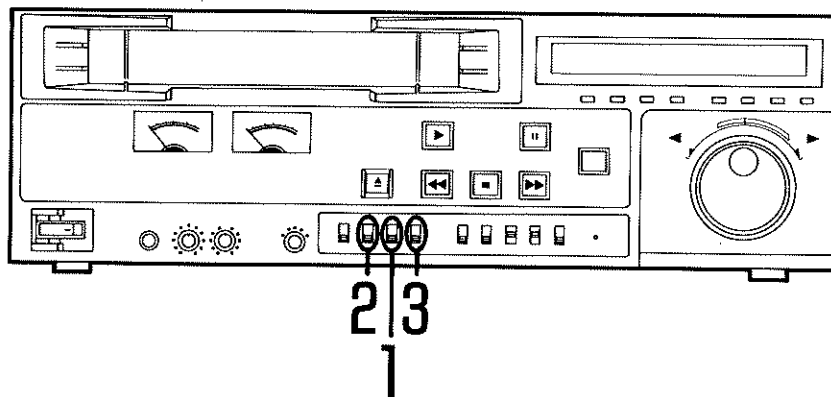


- 3 早送り、巻戻しを行います。
テープカウンタが「0:00:00」付近になると、自動停止します。



- ノート ■AUTO STOP機能は以下の場合働きません。
- CONTROLスイッチが「REMOTE」の場合
 - CTL/TC/UBボタンが「CTL」以外の場合
 - DIAL MODEスイッチが「MENU」の場合

音声系のスイッチ設定

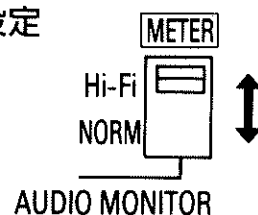


1 AUDIO MONITOR (METER) スイッチの設定

レベルメータに表示される音声と、前面のヘッドホン端子や後面のAUDIO MONITOR端子から出力される音声を選択します。

Hi-Fi : Hi-Fi音声が選択されます。

NORM : ノーマル音声を選択されます。



2 AUDIO MONITORスイッチの設定

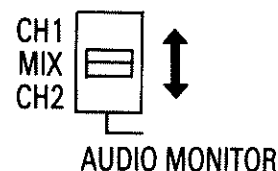
前面のヘッドホン端子と後面のAUDIO MONITOR端子から出力される音声チャンネルを選択します。

CH1 : CH1の音声が出力されます。

MIX : AUDIO MONITOR端子からは、CH1とCH2の混合音声が出力され、ヘッドホン端子からは、左側はCH1、右側はCH2の音声が出力されます。

CH2 : CH2の音声が出力されます。

■ダイヤルメニュー機能の「AUDIO CH2」(項目NO.3006)が「LTC」に設定されているときは、ノーマル音声CH2から音声は聞こえません。



3 AUDIO OUTスイッチの設定

後面のAUDIO OUT (NORM/Hi-Fi) 端子から出力される音声を選択します。

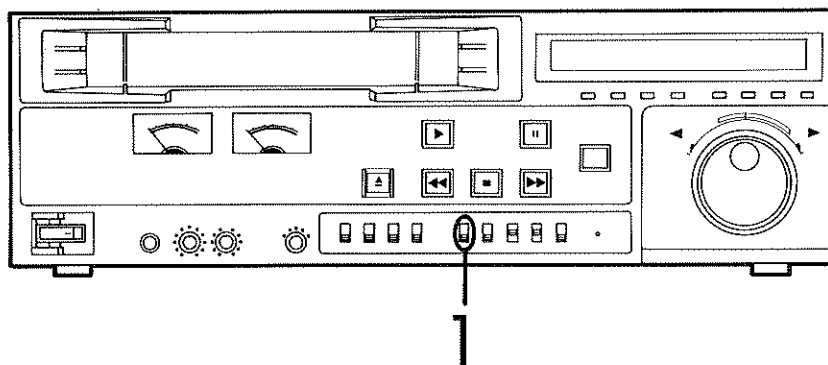
Hi-Fi : Hi-Fi音声が出力されます。

NORM : ノーマル音声が出力されます。



ノート ■AUDIO OUTレベル切替えは、AUDIO 2 P板上のスイッチ (P板抑え金具の下方) で切替えることができます。(55ページ参照)

映像系のスイッチ設定

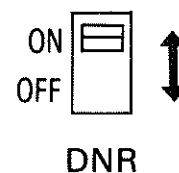


1 DNR (デジタルノイズレデューサ) スイッチの設定

S/N比の劣化したテープを再生する場合、画質に応じたノイズ除去を行うことができます。(ただし、若干の解像度の劣化が発生します。)

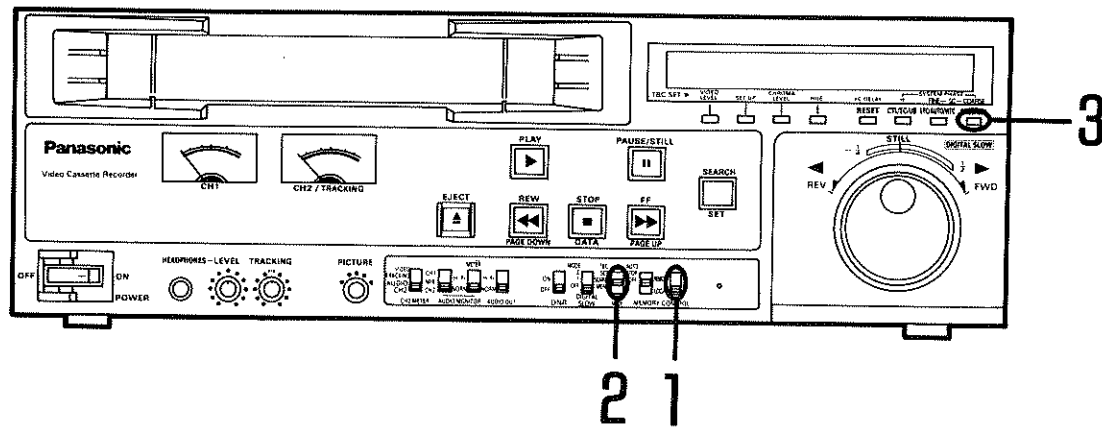
- 編集時は「OFF」にしてください。編集を重ねると画面が乱れる場合があります。
- DNR ONでダビングを重ねると残像がめだちます。

■S/N比の改善度合はダイヤルメニュー機能の項目NO.2013とNO.2014で設定することができます。



DNR

その他のスイッチ設定

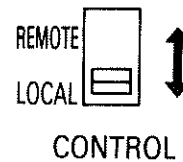


1 CONTROLスイッチの設定

REMOTE : コントローラなどで本機をリモートコントロールする場合、この位置にします。

LOCAL : 本機の前面パネルで操作する場合、この位置にします。

■REMOTE時の本機の動作モードは、ダイヤルメニュー項目 NO.5001 で設定できます。

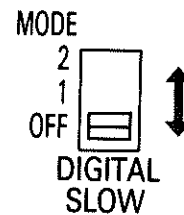


2 DIGITAL SLOWスイッチの設定

2 : ノイズレススローになります。サーチダイヤルは-1/4 ~ +1となります。

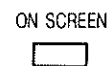
1 : ノイズレススローになります。サーチダイヤルは-32 ~ +32となります。

OFF : ノイズレススローになりません。



3 ON SCREENボタンの設定

VIDEO MONITOR端子から出力されるビデオ信号に、タイムコードなどのスーパーインポーズ信号を付加する時に使用します。



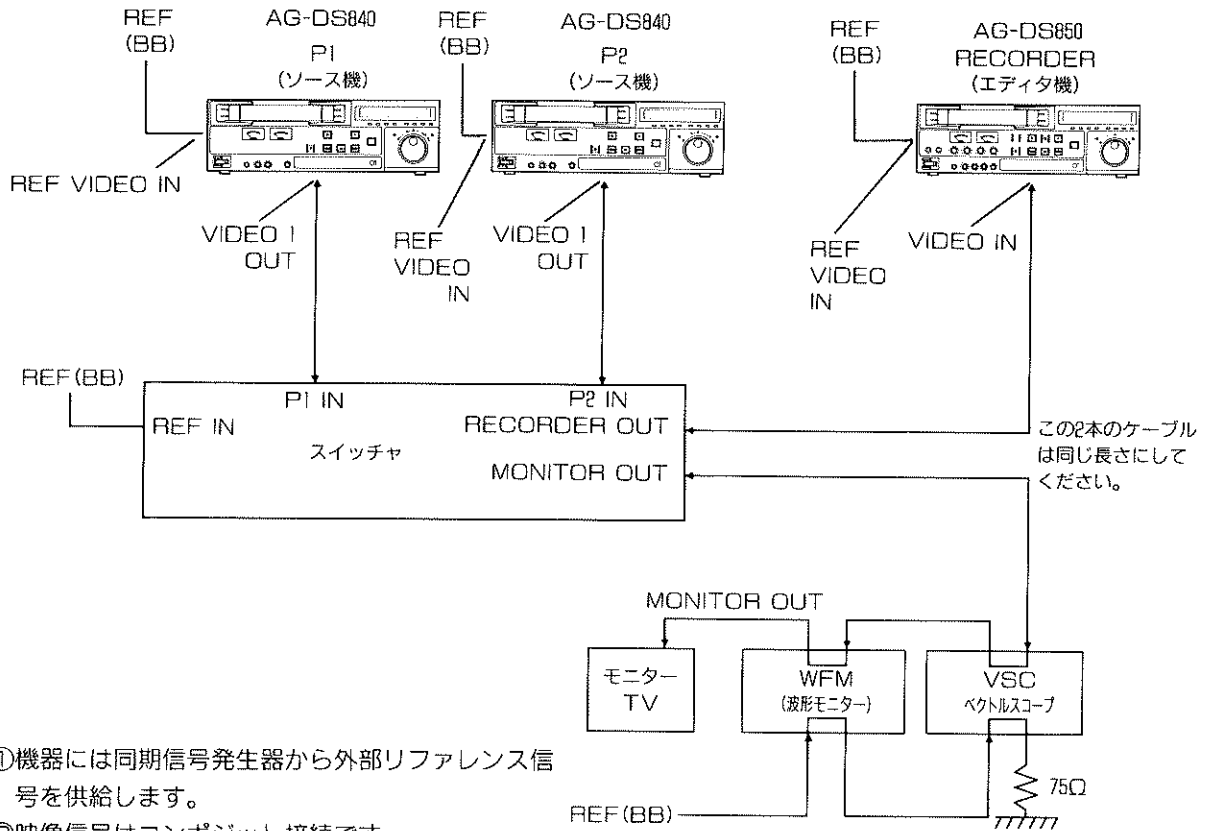
TBC (タイムベースコレクタ) 部の調整

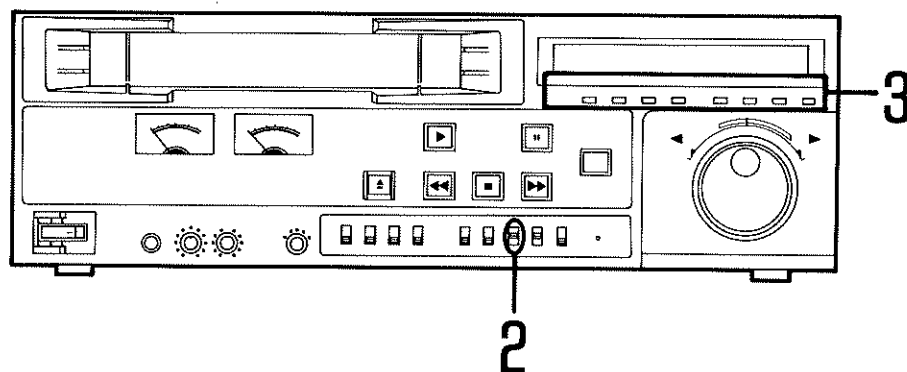
TBCを使用すると、ジッター (画面のゆれ) やスキュー歪み (画面の上部が水平方向に曲がる現象) を低減することができます。

また、編集コントローラを使用してABロール編集 (2台のソース機を使った編集方法) などを行う場合、誤差のない正確な編集を行うためには、システム接続後にTBCを調整する必要があります。

(TBCの調整は、接続ケーブルを交換した場合や接続を変えた場合などごとに調整しなおす必要があります。)

1 以下のように接続します。





2 DIAL MODEスイッチを「TBC SET」に設定します。

■TBC SET画面（第1メニュー）がモニタ出力されます。

・ノート

ダイヤルメニュー機能の「TBC REMOTE」（項目 NO.2015）が「REMOTE」になっている場合は、第1メニュー画面は出力されません。「TBC REMOTE」を「LOCAL」にするか、外部のTBCエンコーダで調整してください。

第1メニュー

TBC CONTROL

1. VIDEO LEVEL
2. SET UP
3. CHROMA LEVEL
4. HUE
5. YC DELAY
6. SYSTEM H PHASE
7. SYSTEM SC PHASE FINE
8. SYSTEM SC PHASE COARSE

3 単体での調整を行いません。

本機のTBCは標準カラーバーにより、すでに調整されています。通常は「0」にてご使用ください。ご使用になるテープにより再調整される場合は、下記のように行ってください。

・各項目は表示管の下の8つのスイッチ（TBCモード設定部）が向かって左側より順番に対応しています。

(1) ご使用になるテープのカラーバーを再生します。

(2) 各項目を調整します。

調整を行なう項目のスイッチ（TBCモード設定部）を押すと、第2メニューが出力されます。

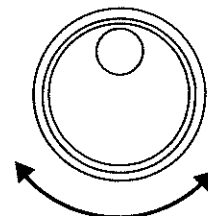
JOGダイヤルを回すとカーソルが左右に移動し、調整できます。

第2メニュー

TBC CONTROL NO. 1

1. VIDEO LEVEL

3 2 1 0 1 2 3
-.....+



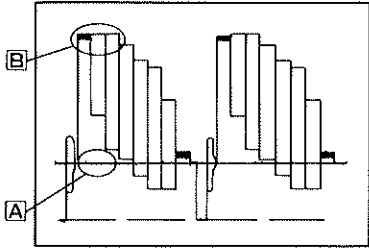
ノート ■TBC SET画面のメニューは、画面が停止していると調整することはできません。

TBC (タイムベースコレクタ)部の調整(つづき)

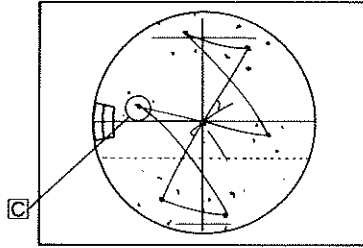
(3) 各項目を調整します。

ウェーブフォームモニタ (WFM)、ベクトルスコープ (VSC) が以下のようになるように、各項目を調整します。

■WFM上の波形



■VSC上の波形



- Ⓐ：セットアップレベル
ズレをなくすように調整します。
- Ⓑ：ビデオレベル
100IREに調整します。
- Ⓒ：クロマレベル
規定レベルになるように調整します。
ヒュー
VSCの田マークに入るように調整します。

(4) YC DELAYの調整 (通常は調整不要です。)

再生されるテープのYC DELAYのズレ (色ズレ) に対して調整します。

1ステップで約70nsecの調整ができます。

(5) SYSTEM PHASEの調整

①P1 VTRで標準カラーバーを再生します。

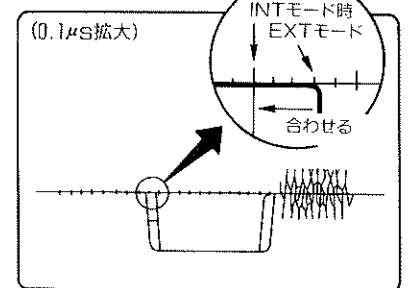
標準カラーバーについては、販売店にご相談ください。

②P1 VTRのSYSTEM PHASEを調整します。

ウェーブフォームモニタ (WFM) が以下のようになるように調整します。

- 1) WFMはINTモード。0.1 μ sに拡大します。
- 2) H SYNCの位置を確認します。
- 3) そのままWFMをEXTモードにします。
- 4) EXTモードにすると、先程のH SYNCの位置がずれる為、SYS PHASEつまみで先程の位置まで調整します。
(最初にHを調整します。次にSC COARSEで粗調整、SC FINEで微調整をします。)
- 5) P2 VTRのSYS PHASEも同様に調整します。

■WFM上の波形

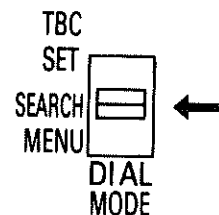


(SYNCの立ち下がりに着目)

メモ 各項目の調整の内容

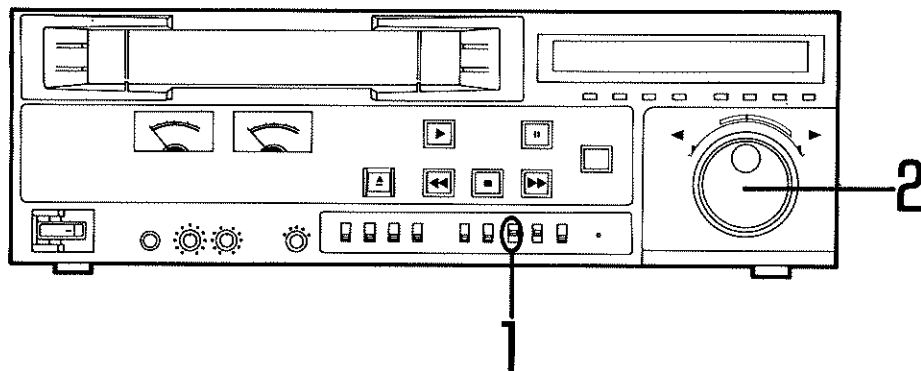
- VIDEO LEVEL : ビデオレベルを調整します。
- SET UP LEVEL : セットアップレベルを調整します。
- CHROMA LEVEL : クロマレベルを調整します。
- HUE LEVEL : ヒューレベルを調整します。
- YC DELAY : YCタイミングのずれを調整します。
- SYSTEM H PHASE : GEN LOCKのために外部から入力される外部基準信号に対し、内蔵のSYNC GENのH位相を調整します。
- SYSTEM SC PHASE : GEN LOCKのために外部から入力される外部基準信号に対し、内蔵のSC位相を調整します。
 COARSE : 90°毎に4ステップ
 FINE : 連続90°強の範囲
 トータルで360°をカバーします。

4 TBCの調整後は、DIAL MODEスイッチを「SEARCH」に戻します。



- ノート
- 第1メニューが表示されているときにSEARCH (SET) ボタンを押すと、SYSTEM PHASE 以外のすべての項目の設定値が初期設定に戻ります。
 - 第2メニューが表示されているときにSEARCH (SET) ボタンを押すと、その項目のみ、初期設定に戻ります。

ダイヤルメニュー機能の操作

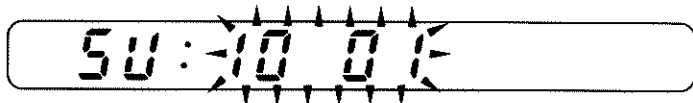


1 DIAL MODEスイッチを「MENU」にします。

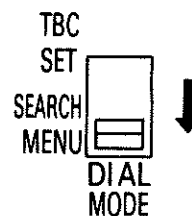
■ダイヤルメニュー機能以外の操作はできなくなります。

(本機の動作は、ダイヤルメニュー機能が表示される以前のモードを保持します。)

ディスプレイの表示は以下のようになります。



MONITOR VIDEO端子に接続されているモニタにSETUP-MENU画面が表示されます。



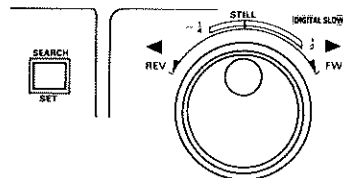
SETUP-MENU NO. 1001

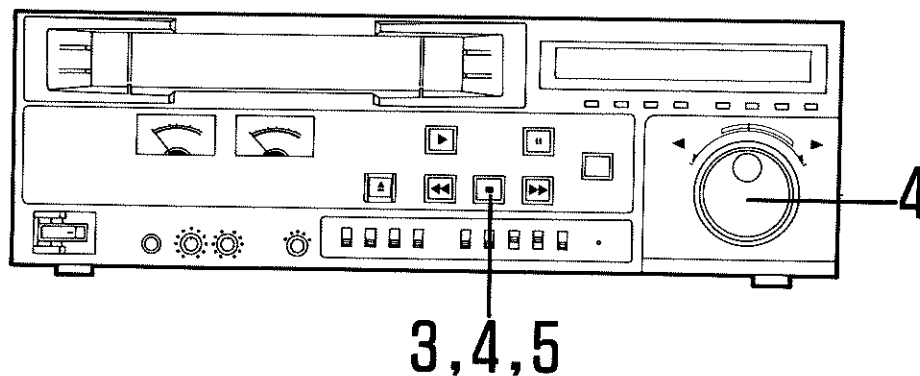
- 01 SYNC ←点滅
- 02 STILL TIME SELECT
- 03 TAPE PROTECTION
- 04 READY OFF MODE SELECT
- 05 DIRECT SEARCH
- 06 SHORT FF
- 07 AUTO REW

2 JOGダイヤルを回して、設定項目を探します。

右に回すとNO.が1001→1002→1003→・・・のように増加し、左に回すと減少します。(選択されている項目が点滅表示されます。)

■ページ単位でメニューを切り替える場合は、FF (PAGE UP)、REW (PAGE DOWN) ボタンを押します。



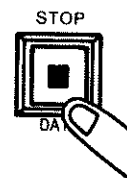
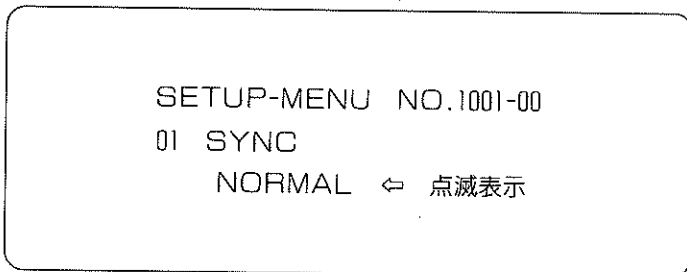


3 希望の項目でSTOP (DATA) ボタンを押します。

STOPボタンを押している間、セットアップ変更画面が表示されます。
ディスプレイの表示は以下ようになります。



モニタの表示は以下ようになります。

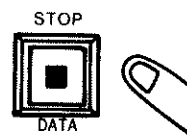


4 STOP (DATA) ボタンを押しながら、JOGダイヤルを回します。

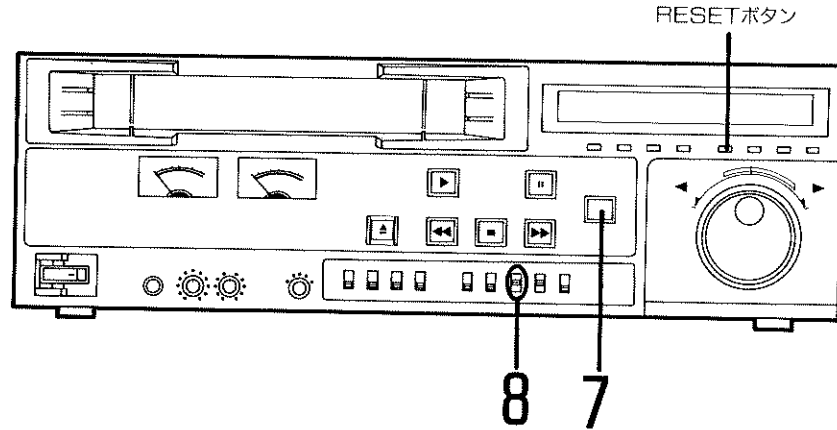
点滅表示が変わりますので、希望の値に設定してください。



5 STOP (DATA) ボタンから指を離します。



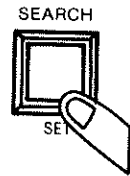
ダイヤルメニュー機能の操作(つづき)



6 3~5の操作を繰り返します。
セットアップ変更を行いたい項目は、すべて希望の値に設定します。

7 設定終了後、SEARCH (SET) ボタンを押します。
セットアップ変更が確定され、以下のメッセージが表示されます。

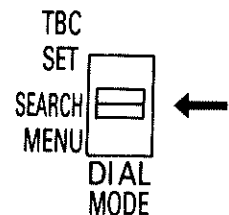
[SETUP-MENU END]
SET TO SEARCH POS



■ディスプレイ表示は通常のカウンタ表示に戻ります。

8 DIAL MODEスイッチを「SEARCH」に戻します。
通常の画面に戻ります。

■7の項でSETボタンを押さずに、スイッチを「SEARCH」に戻すと、設定は無効になります。



ノート ■セットアップを初期設定（工場出荷時）に戻すには
SETUP-MENUが表示されているときに、RESETボタンを押します。以下のメッセージが表示されます。

SETUP-MENU INIT.SET
OK? (PUSH PLAY KEY)

PLAYボタンを押すと、初期設定に戻ります。

SETUP-MENU画面について

操作・機能関係のセットアップ

項 目		セ ッ ト ア ッ プ 値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
1001	SYNC	00	NORMAL	同期信号を選択します。 00：入力映像信号に同期します。 01：外部同期信号に同期します。
		01	EXT	
1002	STILL TIME SELECT	00	2 SEC	STOP、STILLの状態での放置されたとき、テープ保護のために自動的にTAPE PROTECTION MODEになるまでの時間を選択します。設定後次回のSTOP、STILLより有効です。
		01	30 SEC	
		02	1 MIN	
		03	5 MIN	
1003	TAPE PROTECTION	00	READY OFF	TAPE PROTECTION MODE時の動作を選択します。設定後次回のTAPE PROTECTION MODEより有効です。 00：READY OFFモードになります。 01：STILL TIME SELECTで設定された時間を経過する度に約3フレーム送り、約30分を過ぎるとREADY OFFモードになります。
		01	AUTO ADVANCE	
1004	READY OFF MODE SELECT	00	DRUM ROTATE	READY OFF状態の動作を選択します。 00：テーブルジングでドラムが回転します。 01：テーブルジングでドラムは停止します。 02：アンローディングします。
		01	DRUM STOP	
		02	UNLOADING	
1005	DIRECT SEARCH	00	OFF	ダイレクトサーチモードを設定します。 00：サーチボタンを押すとサーチモードになります。 01：サーチボタンを押さなくても、サーチダイヤルを操作すると、自動的にサーチモードになります。
		01	ON	
1006	SHORT FF	00	OFF	テープ始端でのショートFF機能を設定します。 00：ショートFF動作を行いません。 01：ショートFF動作を行います。
		01	ON	
1007	AUTO REW	00	OFF	テープ終端でのオートリワインド機能を設定します。 00：テープ終端になると、停止します。 01：テープ終端になると、自動的にテープ始端まで巻き戻して停止します。
		01	ON	

は初期設定を示します。

SETUP-MENU画面について (つづき)

映像関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
2001	IMAGE MODE SELECT	00	NORMAL	00：通常使用時に選択します。輝度信号と色信号のノイズキャンセラーとCAC機能が動作します。 01：編集時に選択します。
		01	EDIT	
2002	VIDEO MODE	00	COLOR	入力ビデオ信号のカラーモードを選択します。 00：強制的にカラーモードになります。ただし、VIDEOとP板上のスイッチでAUTOモードになります。 再生信号により自動的に、カラー、白黒モードを判断します。 01：強制的に白黒モードになります。
		01	B/W	
2004	PB/EE SELECT	00	PB/EE	STOPモード時、モニタに映し出される画像の設定を行います。 00：再生画像が映し出されます。 01：ブラックバーストが映し出されます。
		01	EE	
2005	WIDE MODE SELECT	00	AUTO	WIDE IDに対するVTRの動作を設定します。 00：再生時、テープにWIDE IDがあるとY/C出力信号にWIDE情報を付けます。 01：Y/C出力信号にWIDE情報を付け、再生します。 02：WIDE情報を付加しません。
		01	WIDE	
		02	NORMAL	
2007	HSW BLANKING SELECT	00	OFF	再生時、SWITCHING部分のマスキング処理を行うか設定します。
		01	ON	
2008	V BLANKING SELECT	10	OFF/ON	再生時、入力信号の垂直ブランキング期間のマスキング処理を行うか各ラインごとに設定します。 10：10_LINE 17：17_LINE 11：11_LINE 18：18_LINE 12：12_LINE 19：19_LINE 13：13_LINE 14：14_LINE 15：15_LINE 16：16_LINE
		11	OFF/ON	
		12	OFF/ON	
		13	OFF/ON	
		14	OFF/ON	
		15	OFF/ON	
		16	OFF/ON	
		17	OFF/ON	
		18	OFF/ON	
		19	OFF/ON	
2009	SLOW DANCING COMP	00	OFF	デジタルスロー再生時、ダンシング補正を行うか選択します。
		01	ON	

は初期設定を示します。

映像関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	スーパー表示	NO.	スーパー表示	
2010	DOC SELECT	00 01	3LINE-3D 3D ONLY	DOCを選択します。 00：3Hまでを2次元DOC、それ以上を3次元DOC 01：3次元DOC（フィールドDOC）
2011	FREEZE AT READY OFF	00 01	OFF ON	READY OFFしたときに画面をフリーズするか選択します。 00：フリーズしません。 01：フリーズします。
2012	FREEZE AT STOP	00 01 02 03	OFF ODD EVEN FRAME	PLAYからSTOPしたときに画面をフリーズするか選択します。 00：フリーズしません。 01：ODDフィールドをフリーズします。 02：EVENフィールドをフリーズします。 03：フレームフリーズします。
2013	Y-DNR LEVEL SELECT	00 01 02	OFF LEVEL 1 LEVEL 2	輝度信号に対するDNRのレベルを設定します。 00：輝度信号にDNR処理しません。 01：輝度信号にレベル1のDNR処理をします。 02：輝度信号にレベル2のDNR処理をします。
2014	C-DNR LEVEL SELECT	00 01 02	OFF LEVEL 1 LEVEL 2	色信号に対するDNRのレベルを設定します。 00：色信号にDNR処理しません。 01：色信号にレベル1のDNR処理をします。 02：色信号にレベル2のDNR処理をします。
2015	TBC REMOTE	00 01	LOCAL REMOTE	TBCの調整モードを選択します。 00：TBC SET中で調整します。 01：外部からのリモートコントロールになります。
2017	COMPONENT OUT LEVEL	00 01	LOW HIGH	コンポーネントOUT端子の出力レベルを設定します。 00：M II用のコンポーネント信号を出力します。 01：βカム用のコンポーネント信号を出力します。
2018	SLOW SPEED TRANSITION	00 01	NOISELESS HIGH RESPONSE	00：スロー動作の速度可変時にノイズが出ません。 01：スロー動作の速度可変時の応答を良くします。

は初期設定を示します。

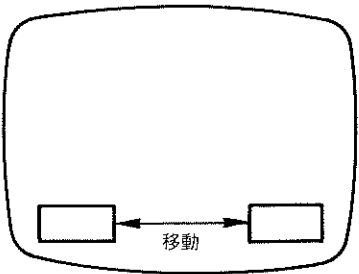
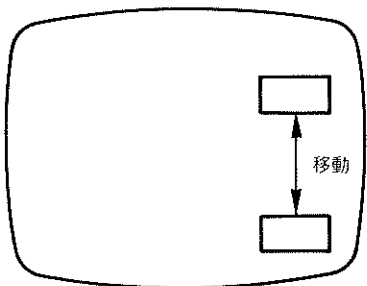
SETUP-MENU画面について(つづき)

音声関係のセットアップ

項 目		セ ッ ト ア ッ プ 値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
3001	DOLBY NR	00	OFF	DOLBY NRシステムを設定します。 00 : DOLBY NR OFF 01 : DOLBY NR ON
		01	ON	
3006	AUDIO CH2	00	AUDIO	ノーマル音声CH2の切り換えを行います。 00 : CH2をAUDIOとして使用します。 01 : CH2をLTCトラックとして使用します。
		01	LTC	

は初期設定を示します。

スーパーインポーズ関係のセットアップ

項 目		セ ッ ト ア ッ プ 値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
4001	CHARACTER BACKGROUND	00 01	スーパー表示をみながら 選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示 のバックグラウンド状態を選択します。 00：ブラック表示=LTCR 00:00:00:00 01：ふちどり表示=LTCR 00:00:00:00
4002	CHARACTER H-POSITION	00 01 02 03 04 05 06 07	スーパー表示を見ながら 選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示 の水平方向位置を選択します。NO.を大きく するに従って右方向へ移動します。 
4003	CHARACTER V-POSITION	00 01 02 03 04 05 06 07	スーパー表示を見ながら 選択します。	VIDEO MONITOR端子のSUPER表示 の垂直方向位置を選択します。NO.を大きく するに従って下方方向へ移動します。 
4004	STATUS SUPER	00 01	OFF ON	スーパー表示にVTRの動作モードを表示する か選択します。 00：表示しません。 01：表示します。

は初期設定（工場出荷時）を示します。

SETUP-MENU画面について(つづき)

リモート関係のセットアップ

項 目		セ ッ ト ア ッ プ 値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
5001	EJECT/STOP FNCTN REM.	00	POSSIBLE	REMOTE モード時、パネル部の EJECT/STOPボタンの動作を設定しま す。 00：動作可能 01：動作不能
		01	NOT POSSIBLE	
5002	9P DEVICE TYPE SELECT ※9Pリモート端子 取付時のみ表示	00	OTHER TYPES	9PのDEVICE TYPE REQUEST COMMANDに対して返信するID CODE を選択します。 00：松下製以外のコントローラを接続する場 合 01：松下製のコントローラを接続する場 合
		01	S-VHS ID	
5003	9P FF/REW MODE ※9Pリモート端子 取付時のみ表示	00	LOADING	9PのFF/REW COMMANDに対する VTRの動作を選択します。 00：ローディング状態のままFF/REWしま す。 01：アンローディングしてFF/REWします。
		01	UNLOADING	
5004	34P SHTL MAX SPEED ※34Pリモート端子(AG-IA834) 取付時のみ表示	00	*10	34Pコントローラで制御時のシャトルの最高ス ピードを選択します。 00：10倍速 01：20倍速
		01	*20	
5005	34P CONTROLLER TYPE ※34Pリモート端子(AG-IA834) 取付時のみ表示	00	TYPE-1 A750 A770 A800	接続する34Pコントローラの機種を選択します。 00：AG-A750、AG-A770、AG-A800 01：AG-A650、NV-A500、NV-A505
		01	TYPE-2 A650 A500 A505	

は初期設定（工場出荷時）を示します。

編集関係のセットアップ

項 目		セ ッ ト ア ッ プ 値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
6001	DROP/NON-DROP FRAME	00	NON-DROP FRAME	タイムコードまたはコントロール信号に対しての時間ズレ補正を設定します。 00：ノンドロップフレーム処理で、時間ズレ補正を行わず、30フレームで1秒として演算します。 01：ドロップフレーム処理で、カラー同期と実時間のズレを補正します。0、10、20、30、40、50を除く毎正分の開始から2フレーム(.00.01)をスキップします。
		01	DROP FRAME	
6002	AUTO PREROLL ENTRY	00	NOT ENTERED	IN点の登録されていないとき、プリロールコマンドによりIN点を登録するか選択します。 00：登録しません。 01：登録します。
		01	ENTERED	
6003	PREROLL TIME	00	0 SEC	9P制御のプリロールタイムを0秒から15秒まで選択します。
		01	1 SEC	
		∴	∴	
		04	4 SEC	
		05	5 SEC	
		06	6 SEC	
		∴	∴	
		10	10 SEC	
6004	PLAY DELAY	00	0 FRAME	PLAY動作開始時のPLAY DELAY時間を0フレームから15フレームまで選択します。
		01	1 FRAME	
		∴	∴	
		05	5 FRAME	
		∴	∴	
		10	10 FRAME	
		15	15 FRAME	
6005	FRAME SERVO	00	OFF	フレーミングモードを設定します。 00：EIAスタンダード信号 (RS-170) に適合しない信号が入力される場合は、この位置にします。フレーミングは行われません。 01：EIAスタンダード信号 (RS-170) に適合する信号を入力する場合はこの位置にすると、フレーミングが行われます。
		01	ON	

は初期設定 (工場出荷時) を示します。

SETUP-MENU画面について (つづき)

タイムコード関係のセットアップ

項 目		セットアップ値		機 能 説 明
NO.	ス ー パ ー 表 示	NO.	ス ー パ ー 表 示	
7008	TC OUT SIGNAL REGEN	00 01	OFF TAPE REGEN	INTERNAL REGENモードの時、TIME CODE OUT端子から出力される波形を設定します。 00：再生信号をそのまま出力します。 01：SERVO LOCK時のみ、再生信号をREGENして出力します。
7013	9P VITC TO DUMMY LTC	00 01	OFF ON	9PでのCURRENT TIME SENSEに対して、CH2：AUDIOの場合の返答を選択します。 00：REQUEST TIME DATA MISSINGを返答します。 01：VITCデータをLTCとして返答します。
7014	9P INTERPOLATED VITC	00 01	HOLD VITC INTERPOLATED LTC	9PでのCURRENT TIME SENSEに対して、VITCのCTL補間値を返答する場合の返答方法を選択します。 00：HOLD_VITC (74H 16H) で返答します。 01：INTERPOLATED_LTC (74H 14H) で返答します。

は初期設定（工場出荷時）を示します。

2008の設定方法

1. 項目NO.2008、に合わせて、STOPボタンを押します。
2. JOGダイヤルを回して、変更桁（点滅表示）を移動させます。
3. STOPボタンを押しながら、JOGダイヤルを回すと、NO.2008はON/OFFが切り替わります。
4. 設定終了後は、SEARCH (SET) ボタンを押します。

■項目NO.2008は、その設定モードに一度入ると、その項目以外の設定モードにもどることができません。設定終了後SEARCH (SET) ボタンを押す事によって、それ以前に設定された項目については、変更が確定されますが、SET ボタンを押さずにスイッチを「SEARCH」に戻すと、以前の設定も無効になります。

タイムコード/ユーザズビットについて

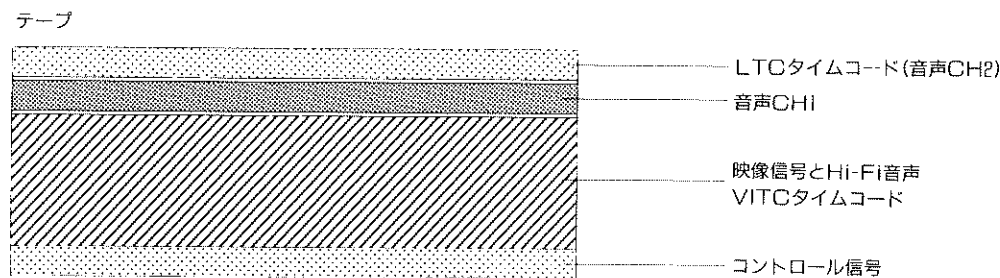
タイムコード

タイムコードとは、タイムコードジェネレータ（タイムコード信号発生器）によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー（タイムコード信号読取器）で、その値を読み取り、テープの絶対位置を時：分：秒：フレーム単位で表示するとき 사용합니다。テープの絶対位置が分かると、正確な編集や素早いサーチ操作を行うことができます。

タイムコードには、LTC (Longitudinal Time Code) とVITC (Vertical Interval Time Code) の二つのタイプがあります。

LTCは、テープ上のノーマル音声CH2用のトラックに記録されます。テープ上の位置情報とユーザズビット情報を記録することができます。

VITCは、映像信号の垂直ブランキング区間に記録されますので、ノーマル音声CH2用のトラックを使用しなくても、テープ上の位置情報とユーザズビット情報を記録することができます。



タイムコードの値は、ディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

LTCR	00	:	07	:	04	:	24
タイムコードモード	時		分		秒		フレーム

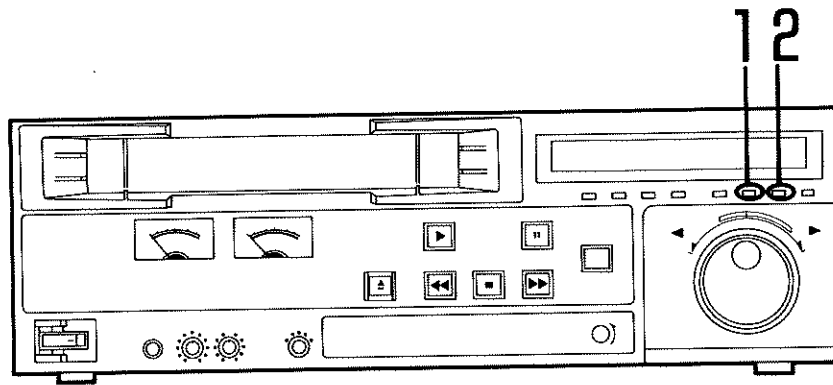
ユーザズビット

ユーザズビットとは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された情報枠のことです。オペレータナンバーなどを記録させることができます。

LUBR AB CD EF 88

ユーザズビットで使用できる文字は、0~9とA,B,C,D,E,Fの16文字です。
(カウンタディスプレイには、BとDは小文字で表示されます。)

タイムコード関係のスイッチ設定



1 CTL/TC/UBボタン

ディスプレイに表示されるタイムコードモードを切り替えます。ボタンを押すたびに、設定されるモードが機能表示ランプ部に点灯します。

- CTL : CTL (コントロール) 信号の値が表示されます。
- TC : タイムコード値が表示されます。
- UB : ユーザーズピット値が表示されます。

CTL/TC/UB

2 LTC/AUTO/VITCボタンの設定

タイムコードの読み取りモードを切り替えます。ボタンを押すたびに、設定されるモードが機能表示ランプ部に点灯します。

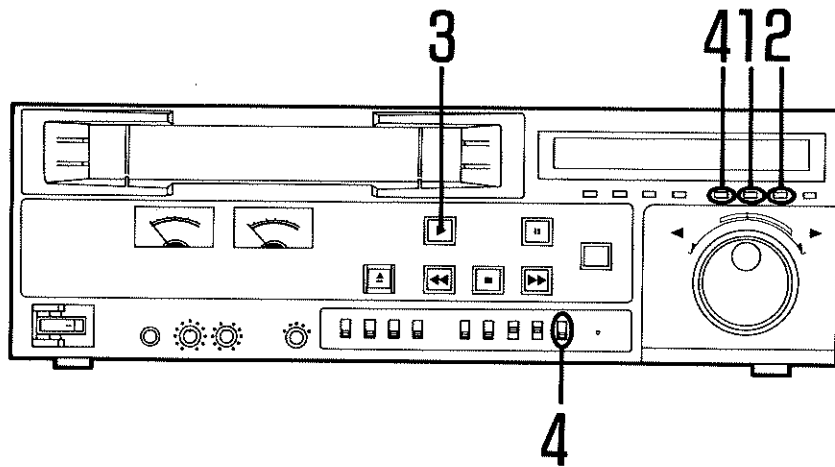
- LTC : リニアトラックCH2に記録されているLTCのタイムコード信号を読み取ります。
- AUTO : スロー時にはVITCを優先的に、その他はLTCを優先的に読み取ります。
- VITC : VITCだけ読み取ります。

LTC/AUTO/VITC

3 ダイヤルメニュー機能での設定

ダイヤルメニュー機能項目NO. 7008でタイムコード関係のセットアップを行えます。(40ページ参照)

タイムコード/ユーザズビットの再生



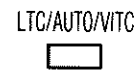
1 CTL/TC/UBボタンで「TC」または「UB」に設定します。

TC : タイムコードを再生します。
 UB : ユーザズビットを再生します。



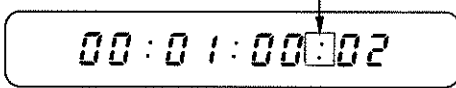
2 LTC/AUTO/VITCボタンの設定を行います。

LTC : リニアトラックCH2に記録されているタイムコード信号を読み取ります。
 AUTO : スロー時はVITCを優先的に、その他はLTCを優先的に読み取ります。
 VITC : VITCだけを読み取ります。
 ■各モード共、タイムコードが読み取れなくなった場合はCTL信号で補間します。



3 PLAYボタンを押します。

ディスプレイ表示



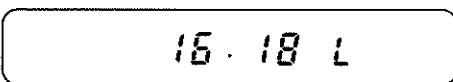
- (ドロップフレーム)
- (ノンドロップフレーム)
- (CTL信号で補間中)



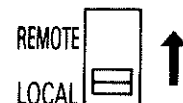
4 PLAY中にVITCの挿入ラインを確認する場合。

CONTROLスイッチを「REMOTE」にし、RESETボタンを押します。

ディスプレイ表示



(VITCが16,18ラインに挿入されている場合)



CONTROL

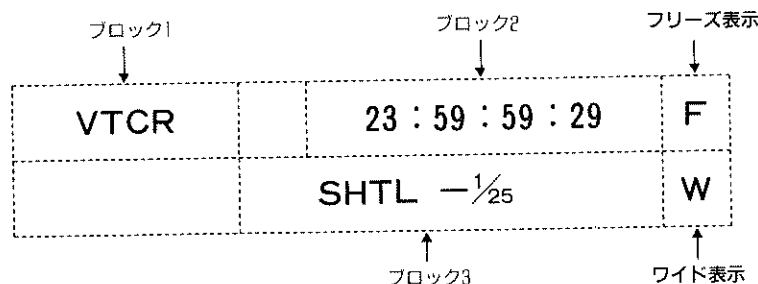
RESET



スーパーインポーズ画面について

ON SCREENボタンを押すと、VIDEO MONITOR端子から出力される信号に、以下のようなスーパーインポーズ信号が付加されます。

- ダイヤルメニューモード中はスーパーインポーズ表示はされません。



ブロック 1

タイムコードモードを以下の略称文字で表示します。

CTL	: コントロール信号	VUBG	: VITCユーザーズビットのジェネレータ値
TCG	: タイムコードジェネレータ値	LUBR	: LTCユーザーズビットの再生値
LTCR	: LTCタイムコードの再生値	VUBR	: VITCユーザーズビットの再生値
VTCR	: VITCタイムコードの再生値	EUBG	: 外部ユーザーズビットのジェネレータ値
ETCG	: 外部タイムコードジェネレータ値		
LUBG	: LTCユーザーズビットのジェネレータ値		

ブロック 2

タイムコード値を時：分：秒：フレームで表示します。(UB時には、コロンを表示しません。)

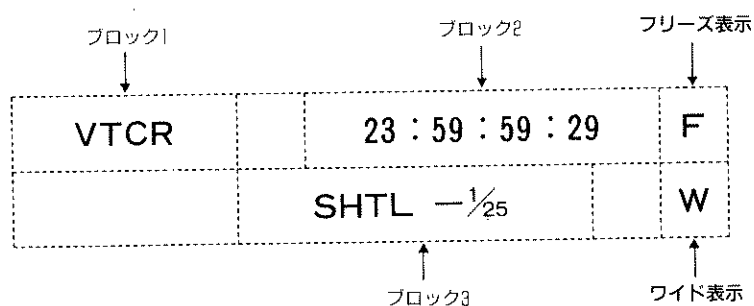
12 : 34 : 43 : 21

- ↑
- (:)=ノンドロップフレームモード
- (.)=ドロップフレームモード
- ()=タイムコード読み取り不可能

ブロック 3

VTRの動作モードを以下のように表示します。

EJECT (イジェクト)	READY-OFF (レディーモード解除)
PLAY (再生)	
STOP (停止)	
FF (早送り)	
REW (巻戻し)	
STILL (一時停止)	



ブロック 3 (つづき)

サーチ速度も表示します。

JOG xxxxx (ジョグ)

SHTL xxxxx (シャトル)

↓

xxxxxx 部分は、サーチ速度を表示します。

$\frac{1}{25}$ ← テープ速度 (この場合ノーマル再生に対して1/25の速さで逆方向にサーチ)

↑

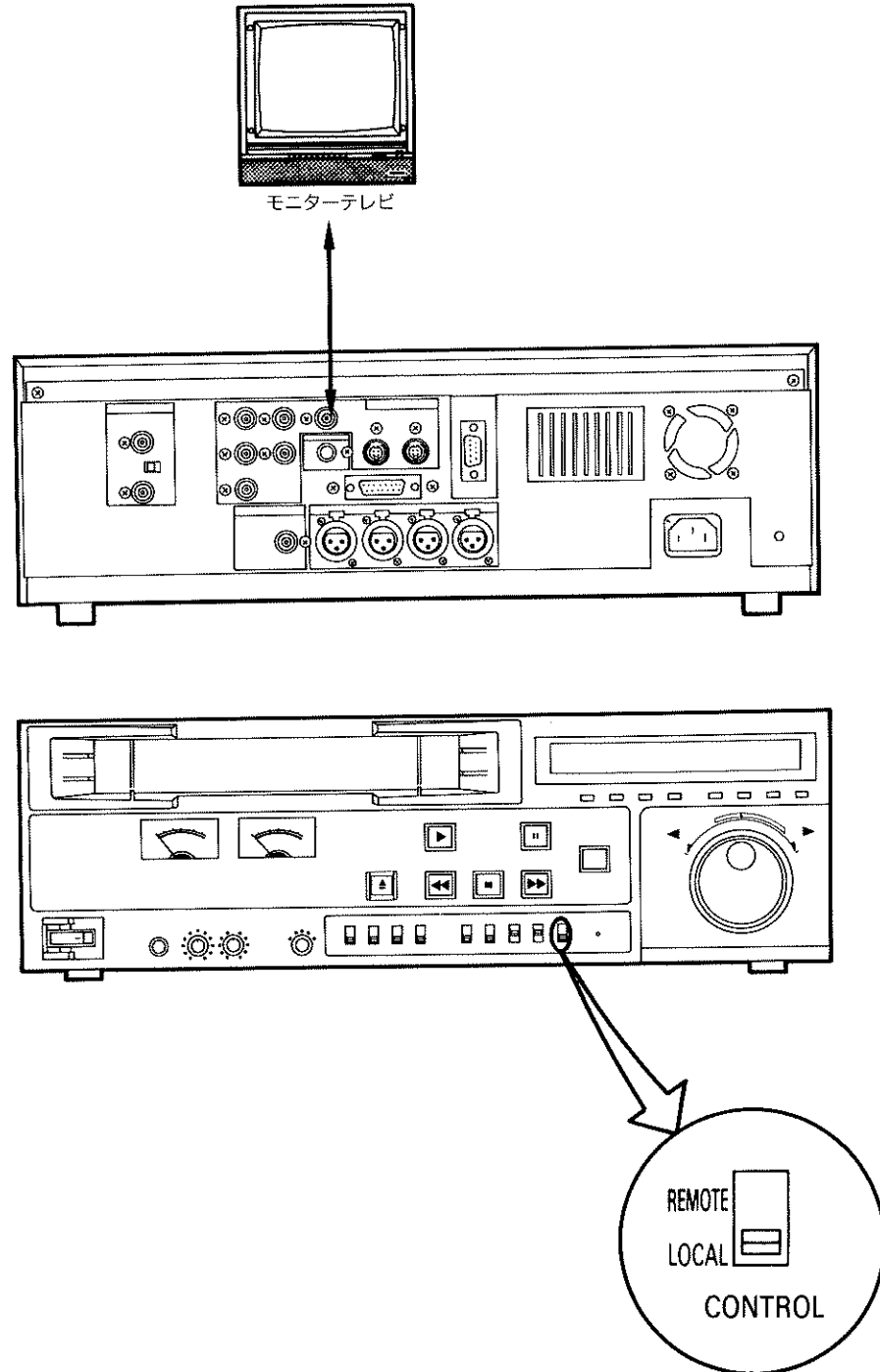
* : 正方向 / - : 逆方向

ノート ■ブロック3、およびワイドの表示は、ダイヤルメニュー機能の「STATUS SUPER」(項目NO.4004)を「ON」に設定したときだけ表示されます。

参考 ■ダイヤルメニュー機能(項目NO.4001)で、スーパーインポーズのバックグラウンドの状態を変えることができます。(37ページ参照)
 ■ダイヤルメニュー機能(項目NO.4002、4003)で、スーパーインポーズの表示位置を移動させることができます。(37ページ参照)

基本システムの接続

- 本機一台で、再生を行う場合の接続です。
- CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしてください。
- ダイヤルメニュー機能の「SYNC」(項目NO.1001)を「NORM」に設定してください。
- ダイヤルメニュー機能の「AUDIO CH2」(項目NO.3006)を「AUDIO」に設定してください。
(ただし、LTCのタイムコードにより編集をする場合は、「LTC」にします。)



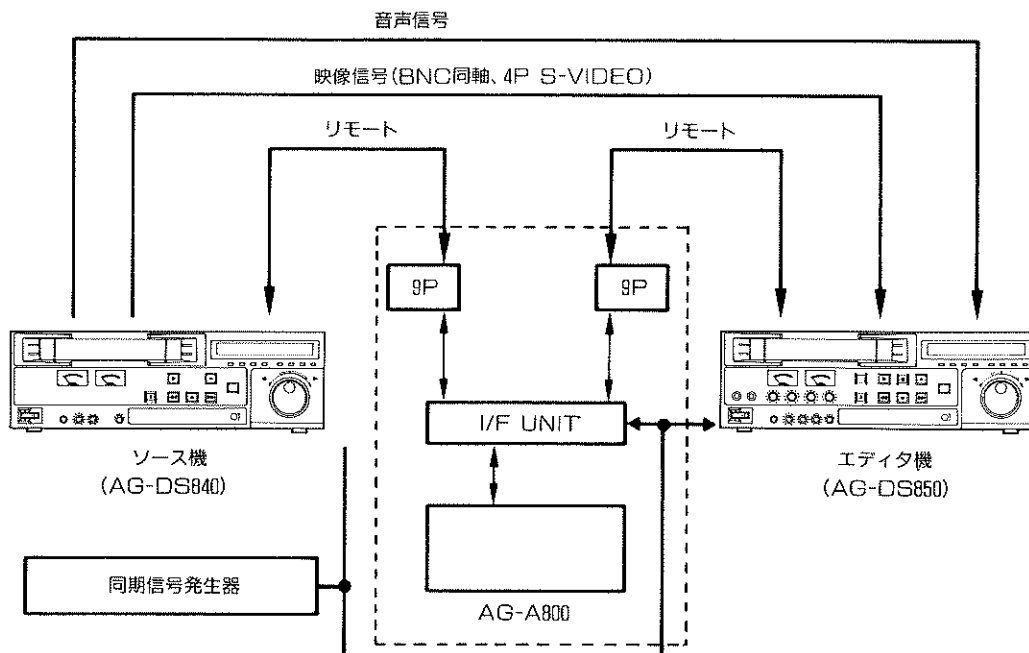
9P編集コントローラを使ったシステム

9P編集コントローラ（別売品）を使ってタイムコード編集を行うと、編集誤差のほとんどない精度の高い編集が可能です。

また、本機にはTBCが内蔵されていますので、システム編集時にTBCのめんどろな配線をする必要がありません。

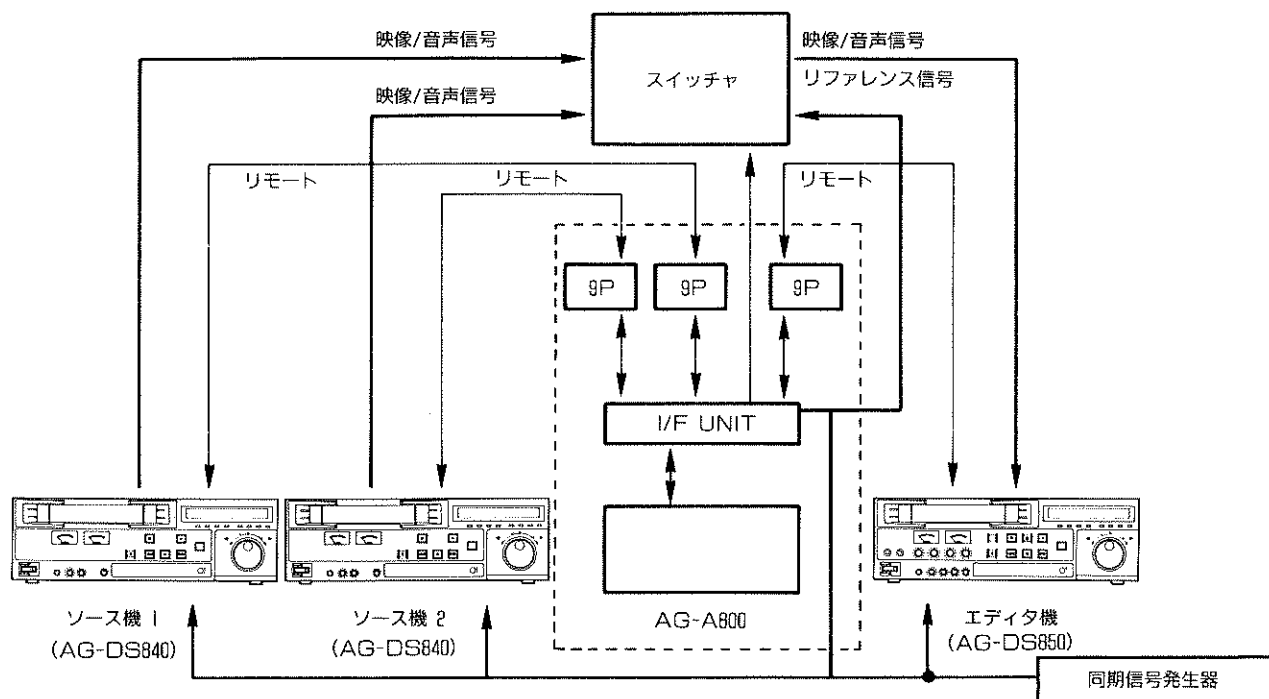
本機はソース機として使用します。

エディタ機とソース機を1台ずつ使用したシステム



エディタ機1台とソース機を2台使用したシステム

(ABロール編集が行えます。)



接続

9P編集コントローラを使ったシステム(つづき)

1 編集コントローラを接続します。

- REMOTE (9ピン) 端子の接続をします。
- 音声信号の接続をします。
- 映像信号の接続をします。
- リファレンス信号の接続をします。

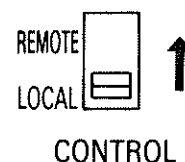
2 9P DEVICE TYPE SELECT (項目NO.5002) を設定します。

ダイヤルメニュー機能で設定します。

OTHER TYPES (セットアップNO.00) : 松下製以外のコントローラを使用する場合

S-VHS ID (セットアップNO.01) : 松下製のコントローラを使用する場合

3 CONTROLスイッチを「REMOTE」側にします。



4 編集コントローラ側で本機を操作します。

編集コントローラ側の操作説明は、各編集コントローラの取扱説明書をご覧ください。

接続

- ノート
- 9P編集コントローラの編集タイミングを8フレームに設定してください。
 - カラーフレーミング機能のついた編集コントローラを使用する場合は、カラーフレーミングモードの設定をしないでください。
 - 9P編集システムでファーストエディット操作を行う場合、ダイヤルメニュー機能(項目NO.1006)「SHORT FF」が「ON」でないと行うことができません。
 - 9P編集システムでのインサート編集時の編集チャンネルはタイムコードとオーディオが独立して設定することができますが、本機の場合、リニアトラックCH2をタイムコード(LTC)とノーマルオーディオCH2で共用しているため、ダイヤルメニュー機能(項目NO.3006)「AUDIO CH2」でどちらの信号を編集するかを間違い無く選択してください。
 - 9P編集システムを使用した場合、FF/REWはダイヤルメニュー機能(項目NO.5003)「9P FF/REW MODE」でフルローディングFF/REWとシアンローディング FF/REWの選択ができます。
 - ABロール編集にて、長時間のシーンの編集を行う場合のみ、ダイヤルメニュー機能(項目NO.1003)「TAPE PROTECTION」を「AUTO ADVANCE」に設定してください。
 - 調相を用いた編集を行なう場合、DIGITAL SLOWスイッチは「OFF」または「1」に設定してください。

ダビング接続

本機を編集時のソース機として使用する場合の接続です。

ダビング接続で画質の良い順番は以下のとおりです。

1. S-VIDEOケーブル使用

2. BNCケーブル使用

■CONTROLスイッチは「LOCAL」側にしてください。

■ダイヤルメニュー機能の「AUDIO CH2」（項目NO.3006）を「AUDIO」に設定します。

■ダイヤルメニュー機能の「IMAGE MODE SELECT」（項目NO.2001）を「EDIT」に設定します。

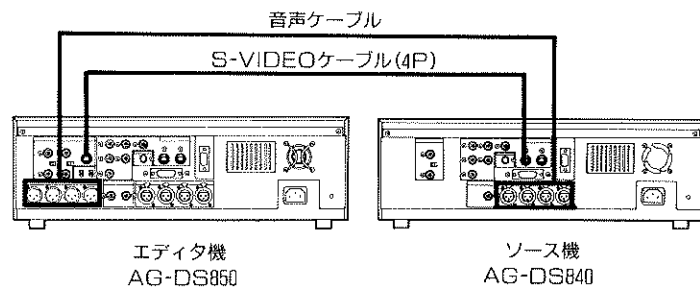
1 S-VIDEOケーブル使用の接続

主な設定（ソース機側）

- ダイヤルメニュー機能「SYNC」（項目NO.1001）→「NORMAL」
- ダイヤルメニュー機能「IMAGE MODE SELECT」（項目NO.2001）→「EDIT」

主な設定（エディタ機側）

- INPUTスイッチ→「S-VIDEO」
- ダイヤルメニュー機能「SYNC」（項目NO.1001）→「NORMAL」
- ダイヤルメニュー機能「IMAGE MODE SELECT」（項目NO.2001）→「EDIT」



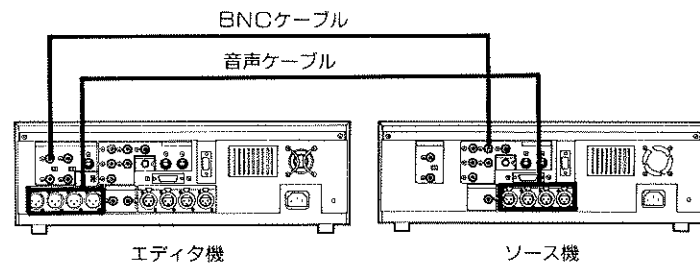
2 BNCケーブル使用時の接続

主な設定（ソース機側）

- ダイヤルメニュー機能「SYNC」（項目NO.1001）→「NORMAL」
- ダイヤルメニュー機能「IMAGE MODE SELECT」（項目NO.2001）→「EDIT」

主な設定（エディタ機側）

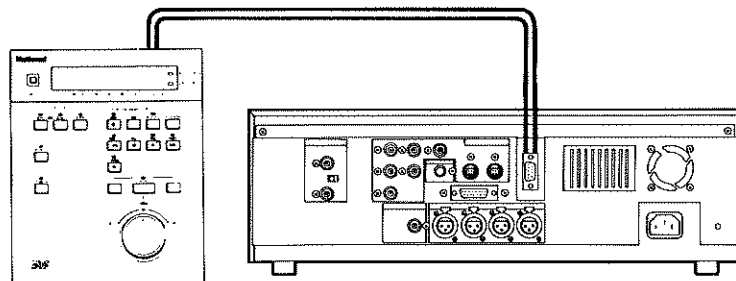
- INPUTスイッチ→「LINE」
- ダイヤルメニュー機能「SYNC」（項目NO.1001）→「NORMAL」
- ダイヤルメニュー機能「IMAGE MODE SELECT」（項目NO.2001）→「EDIT」



接続

リモートサーチコントローラを使ったシステム

本機に34Pリモート端子（別売品）を取り付けて、リモートサーチコントローラNV-A505（別売品）を接続しますと、離れた場所から本機を操作することができます。別売品の34Pリモート端子の取り付け方については、販売店にご相談ください。



リモートサーチ
コントローラNV-A505

1 リモートサーチコントローラNV-A505をREMOTE（34P）端子に接続します。

2 34P SHTL MAX SPEED（項目NO.5004）を設定します。

ダイヤルメニュー機能で、使用する編集コントローラによって、操作できるシャトルサーチの最高速度を設定します。

10（セットアップNO.00）：10倍速

20（セットアップNO.01）：20倍速

3 34P CONTROLLER TYPE（項目NO.5005）を設定します。

ダイヤルメニュー機能で、使用する編集コントローラの機種タイプを設定します。

TYPE-1（セットアップNO.00）：AG-A800、AG-A770、AG-A750

TYPE-2（セットアップNO.01）：AG-A650、NV-A500、NV-A505

4 CONTROLスイッチを「REMOTE」側にします。

本機の操作ボタン（STOP、EJECTボタン以外）は、動作しなくなります。

5 リモートサーチコントローラNV-A505を操作します。

NV-A505で操作できる内容は以下のとおりです。

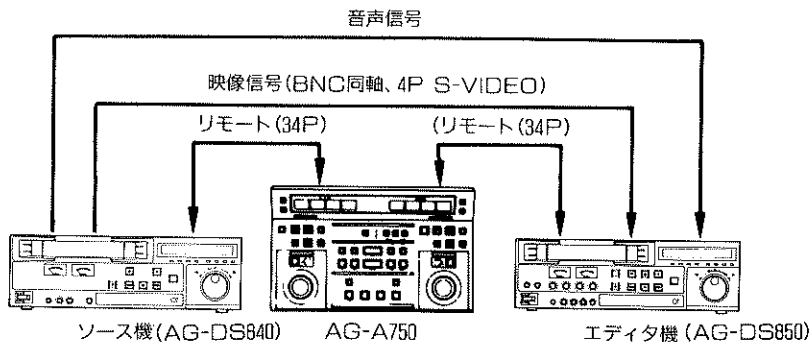
- 再生
- 早送り・巻戻し・停止・一時停止
- JOGモードは作動しません。

参考 ■ソース機を2台、3台同時に接続するシステムを組むときには、リモートサーチコントローラをインタフェースとして使用することができます。

■リモートコントローラAG-A600も使用することができます。この場合、4の操作で「TYPE-2」を選択してください。

34P編集コントローラを使ったシステム

本機に、34Pリモート端子（別売品）を取り付けて、34P編集コントローラ（別売品）を接続しますと、編集コントローラから本機をコントロールし、精度の高い編集を行うことができます。



1 編集コントローラを接続します。

■REMOTE (34ピン) 端子、音声信号および映像信号の接続をします。

2 34P SHTL MAX SPEED (項目NO.5004) を設定します。

ダイヤルメニュー機能で、編集コントローラで操作できるシャトルサーチの最高速度を設定します。
10 (セットアップNO.00) : 10倍速 / 20 (セットアップNO.01) : 20倍速

3 34P CONTROLLER TYPE (項目NO.5005) を設定します。

ダイヤルメニュー機能で、使用する編集コントローラの機種タイプを設定します。
TYPE-1 (セットアップNO.00) : AG-A800、AG-A770、AG-A750
TYPE-2 (セットアップNO.01) : AG-A650、NV-A500、NV-A505

4 CONTROLスイッチを「REMOTE」側にします。

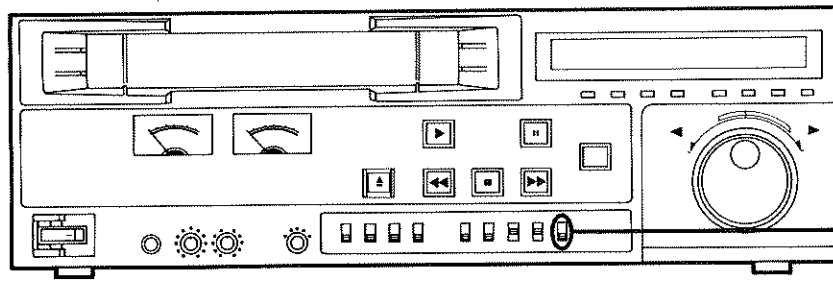
5 編集コントローラ側で本機を操作します。

編集コントローラ側の操作説明は、各編集コントローラの取扱説明書をご覧ください。

- ノート
- エディタ機側のDIGITAL SLOWスイッチは「OFF」で使用してください。「ON」側で使用すると、編集精度が悪くなります。
 - ソース機としてAG-7750またはAG-7650をご使用する場合は、エディタ機側のダイヤルメニュー機能の「PLAY DELAY」(項目NO.6004)を「1 FRAME」に設定してください。
 - 編集コントローラNV-A500を使用時、プレビュー途中でEDIT STOPボタンを押しても、プレビューが終了しない場合があります。このような場合は、PAUSEボタンを押してください。
 - AG-A800を34Pシステムで使用する場合、READY ON/OFF操作でテープが進むことがありますが、編集精度には関係ありません。
 - AG-A800を34Pシステムで使用する場合、STOP EEモードで使用してください。STOP PBモードでは、アセンブル編集でのプレビューが行えません。
 - エディタ機側のMEMORYスイッチを「EDIT」に設定してください。

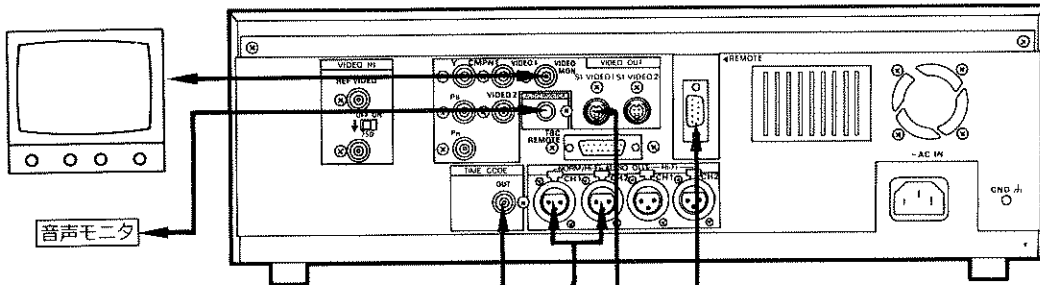
業務用M II機を使ったシステム

本機は、RS-422Aインターフェースを有していますので、業務用M II機と接続することが可能です。

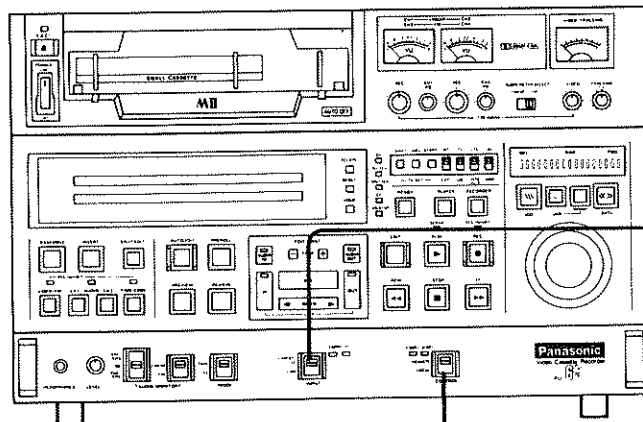
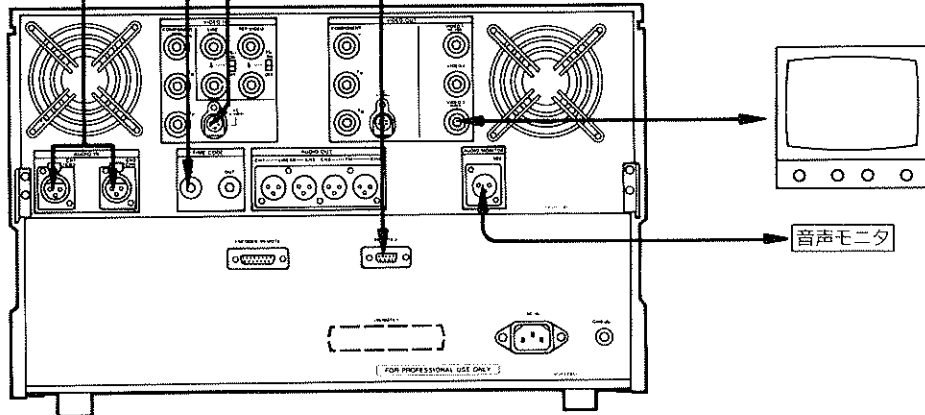


CONTROL
スイッチを
「REMOTE」
にします。

PLAYER



RECORDER



INPUTスイッチを
●COMPONENTまたは
YC入力の場合は
「CMPNT/YC」にします。
●VIDEO IN入力の場合は
「LINE」にします。

CONTROLスイッチを
「LOCAL」にします。

※上記システムは、業務用M II VTR AU-65を使用したものです。

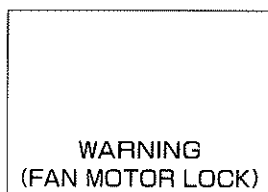
エラー表示について

カウンタディスプレイにエラーが表示されている場合は、本機になんらかの異常が発生しています。このような場合は、速やかに操作を止め、下記の内容に従って対処くださいますようお願いいたします。

エラー表示	エラー内容	対 処
d	露付き	電源を付けたまま、エラー表示が消えるまでお待ちください。(下記メモ参照)
E-0*	ファンモータ部分の異常	電源を一旦切り、再度電源を投入して、正常に動作するか確認してください。
E-2	エレベータ部分の異常	カセットが正しく挿入されていない場合に発生します。電源を一旦切り、再度電源を投入して、正常に動作するか確認してください。
E-3	ローディング部分の異常	
E-4	シリンダ部分の異常	テープに露が付くなど、負荷が重い場合に起こります。電源を一旦切り、再度電源を投入して、正常に動作するか確認してください。
E-5	リール部分の異常	
E-6	テンション部分の異常	
E-7	ソレノイド部分の異常	電源を一旦切り、再度電源を投入して、正常に動作するか確認してください。

■上記で正常に動作しない場合は、販売店にご相談ください。

※ファンモータ部分のエラー表示



ファンモータ部分に異常が起こりますと、左記のワーニング表示が通常のカウンタ表示と交互にモニタ画面に出力されます。出力後は、約20分後に本機の電源が自動的に切れるため、すみやかに作業を終了して、電源を切ってください。約20分後に電源を再投入することができます。

メモ

「露付きが起こるのは」

これは暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）が付くのと同一原理です。

本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

■湯気がたちこもる、湿度の多いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。

■冷房されているところから、急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

万一、異常が生じましたら、直ちに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、お求めの販売店にご連絡ください。そのままご使用になりますと故障の範囲を大きくしたり、思わぬ事故の原因になる恐れがありますからご注意ください。

故障かな?と思う前に…ちょっと!

下記の項目を点検、調整していただき、それでもなお異常があるときは販売店にご相談ください。

症 状	点 検・調 整	参照ページ
電源が入らない	■電源コードは外れていませんか?	—
操作ボタンを押しても動作しない	■カウンタディスプレイにエラー表示はでていませんか?	53
	■CONTROLスイッチが「REMOTE」になっていませんか?	25
	■サーチダイヤルモードスイッチが「MENU」になっていませんか?	30
テープの早送り・巻戻し ができない	■テープの早送り・巻戻しが終わっていませんか?	—
	■MEMORYスイッチが「AUTO STOP」になっていませんか?	22
録画・編集ができない	■カセットの「つめ」が折れていませんか?	17
	■INPUTスイッチの設定は正しいですか?	25
再生がザラザラしている	■ダイヤルメニュー機能の「IMAGE MODE SELECT」 (項目NO.2001)が「EDIT」になっていませんか?	34
	■ビデオヘッドが汚れていませんか?	58
通常再生時、画像の一部 がしま状になっている	■TRACKING調整が合っていますか?	19
再生画に色がつかない	■入力信号はカラーでしたか?	—
	■ダイヤルメニュー機能でカラーモードがB/Wモードになっていませんか?	34
一定の時間間隔をおいて 再生画像が乱れる	■モニタテレビの垂直同期は合っていますか?	—
	■録画時に電源電圧の変動が激しくなかったですか?	—
	■カセットテープは良好ですか?	—

サーボリファレンスについて

本機はサーボ用のリファレンス信号として、INPUTスイッチで選択した入力ビデオ信号、REF IN端子より入力したREF VIDEO信号、または内部同期信号のいずれかを自動的に選択します。

本機はノーマル再生または記録の時、サーボ用のリファレンス信号とダイヤルメニュー機能(項目NO.1001「SYNC」)との関係は以下のとおりです。

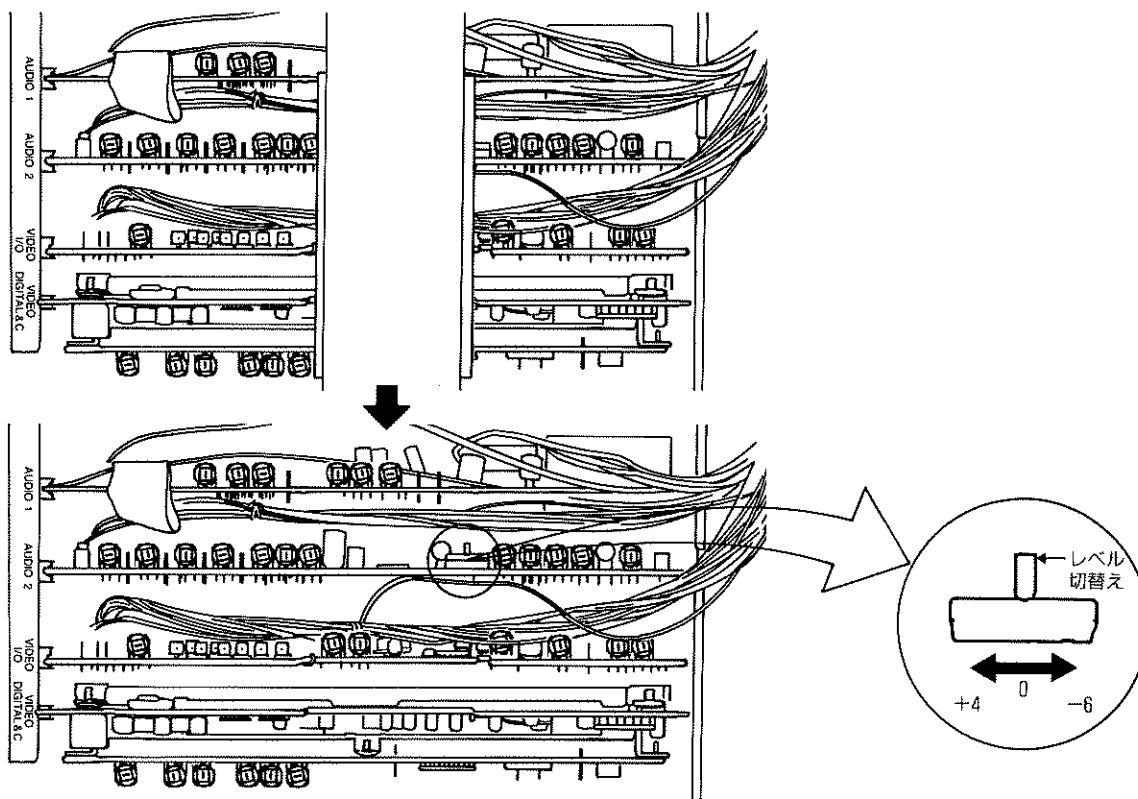
■再生時またはサーチ時

SYNC SELECT スイッチの位置	入力信号の状態		リファレンス信号
	REF IN信号		
NORM	○		REF IN信号
	×		内部同期信号
EXT	○		REF IN信号
	×		内部同期信号

○は信号が入力されている。×は信号が入力されていない。

音声出力レベル切替え

AUDIO OUTレベル切替えは、AUDIO 2 P板上のスイッチ（P板抑え金具の下方）で切替えることができます。



コネクタの信号について

REMOTE 9P 端子

ピン番号	信号内容
1	GND
2	TRANSMIT A
3	RECEIVE B
4	RECEIVE COMMON
5	SPARE
6	TRANSMIT COMMON
7	TRANSMIT B
8	RECEIVE A
9	GND

S-VIDEO/OUT 端子(4P)

ピン番号	信号内容
1	Y GND
2	C GND
3	Y信号
4	C信号

AUDIO/OUT 端子(XLR)

ピン番号	信号内容
1	GND
2	HOT
3	COLD

TBC REMOTE 端子(15P)

ピン番号	信号内容
1	—
2	SET UP
3	C LEVEL
4	GND
5	+12V
6	SYSTEM H ϕ
7	SYS.SC COARSE (2)
8	-12V
9	HUE
10	VIDEO LEVEL
11	RET GND
12	—
13	—
14	SYS.SC FINE
15	SYS.SC COARSE (1)

REMOTE 34P 端子(別売品)

ピン番号	信号内容
1	REC SWITCH * ¹
2	PLAY SWITCH * ¹
3	FF SWITCH * ¹
4	REW SWITCH * ¹
5	STOP SWITCH * ¹
6	—
7	PAUSE SWITCH * ¹
8	CASSETTE IN * ²
9	CUT IN SWITCH * ¹
10	—
11	SERVO LOCK * ²
12	GND
13	STEP SWITCH * ¹
14	REVERSE COUNT * ²
15	CUT OUT SWITCH * ¹
16	EDIT SWITCH * ¹
17	REVERSE IN * ²
18	CONTROL PULSE OUT
19	REMOTE 19 * ¹
20	START MARK
21	EJECT SWITCH * ¹
22	INSERT CH1 * ¹
23	REC HOLD * ²
24	PLAY HOLD * ²
25	FF HOLD * ²
26	REW HOLD * ²
27	INSERT CH2 * ¹
28	—
29	PAUSE HOLD * ²
30	REMOTE30 * ¹
31	CUT IN HOLD * ²
32	INSERT VIDEO * ¹
33	REMOTE33 * ¹
34	+12V

*1 接地入力です。

*2 オープンコレクタの接地出力です。

付属品と別売品のご紹介

付属品

本機に以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

- 電源コード.....品番VJA0252-1

別売品

- S-VIDEOケーブル (4P)品番AG-C71 (5m)
品番VW-CV3 (3m)
品番VW-CV2 (2m)
品番VW-CV1 (1.5m)
- 編集コントローラ.....品番AG-A800
品番AG-A770
品番AG-A750
品番AG-A350
- スローモーションコントローラ.....品番AG-A300
- リモートサーチコントローラ.....品番NV-A505
- リモートコントローラ.....品番AG-A600
- ラックマウントアダプタ.....品番AG-M730-E
- 34Pリモート端子.....品番AG-IA834

カセットテープについて

本機は編集・送出など、高信頼性を要求される商品として設計されています。

録画の信頼性を確保するため、以下のパナソニックビデオカセットテープのご使用をおすすめします。

- S-VHSビデオテープ品番NV-ST120 (2時間)
品番NV-ST60 (1時間)
品番NV-ST30 (30分間)

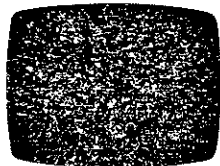
■VHSビデオテープ

ビデオテープ品番			記録・再生時間
標準テープ	スーパーHG	スーパーHG HI-FI	標準モード
NV-T160	——	——	2時間40分
NV-T120	NV-T120HG	NV-T120HF	2時間
NV-T90	——	——	1時間30分
NV-T60	NV-T60HG	NV-V60HF	1時間
NV-T40	NV-T40HG	——	40分
NV-T30	NV-T30HG	——	30分
NV-T20	NV-T20HG	——	20分

日常点検について

ヘッドクリーニングについて

下のような症状が現れたときは、ビデオヘッドが汚れています。
別売のクリーニングテープ（NV-TCLA）をご使用になってビデオヘッドを清掃してください。
清掃しても、状態がよくなる場合は購入店にご相談ください。



- ヘッドクリーニングを何度も行うとビデオヘッドの寿命が短くなりますので、ご注意ください。
- ヘッドクリーニングテープには録画することはできません。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチを「OFF」にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。キャビネットの清掃はやわらかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所用洗剤を薄め、布に浸して固く絞って拭きます。汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。シンナー、ベンジンはご使用にならないでください。

アフターサービス

アフターサービスについて

1. 保証書—内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめてお買い上げの販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2. 保証期間—1カ年

取扱説明書及び本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
- (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
- (ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
- (ヘ) 別に指定する摩耗性の部品*、あるいは付属品の故障及び損傷

3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

4. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな/と思う前に…ちょっと」の項を点検していただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。

ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

※摩耗性の部品とは下記部品類です。

- | | |
|---------|---------|
| ・ビデオヘッド | ・各種ベルト |
| ・ピンチローラ | ・ゴムブリー類 |
| ・各種ブレイキ | ・ローラ類 |
| ・モータ類 | ・ヘッド類 |

定期保守のおすすめ

ビデオは

- ・複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラ、ヘッドなどが数多く使用されています。
- ・これら部品は、使用時間が経過するにつれて摩耗劣化し、故障の原因となります。
- ・また、ほこり、ごみなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に従来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス（メンテナンス）を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。

定期保守サービス（有料扱い）については、お買い上げの販売店にご相談ください。

定格

一般

電源：AC100V±10% 50/60Hz
消費電力：53W（単体）57W（AG-A750接続時）

は安全項目です。

再生方式	2ヘッドヘリカルスキャンアジマス再生S-VHS/VHS規格
テープ速度	33.35mm/秒（通常時）
使用テープ	S-VHSテープ・VHSテープ
再生時間	120分（NV-T120使用時）
早送り/巻戻し	2分以内（NV-T120使用時）
許容相対湿度	35%～80%
許容温度	5°C～40°C（動作時）
外形寸法	424（幅）×131.5（高さ）×415（奥行き）mm
重量	約12kg
ワウフラッター	0.1% WRMS以下

映像系

テレビジョン方式	NTSCテレビジョン方式 525本 60フィールド
変調方式	輝度信号：FM変調、色信号：低域変換
出力	ライン（BNC）：1.0Vp-p 75Ω S-VIDEO（4P）：Y:1.0Vp-p 75Ω /C:0.286Vp-p 75Ω（バースト） COMPONENT出力：Y:1.0Vp-p 75Ω /PR:486mVp-p 75Ω/ PB:486mVp-p 75Ω
水平解像度	VHS：240本以上 S-VHS：400本以上
S/N	VHS：46dB（カラーモード）

音声系

出力	ラインHi-Fi（XLR）：+4/0/-6dBs 出カインピーダンス50Ω* ラインNORM（XLR）：+4/0/-6dBs 出カインピーダンス50Ω* * 出力レベル切替えは、AUDIO 2 P板上のスイッチで切替えることができます。
トラック数	ヘッドホン（M6）：-60dBV～-20dBV 8Ωアンバランス モニタ（ピンジャック）：0dBV 600Ωアンバランス タイムコード（BNC）：2.4Vp-p ローインピーダンス不平衡 4トラック（NORM音声2トラック・Hi-Fi音声2トラック）
S/N	48dB以上（DOLBY NRスイッチ「ON」（ノーマル音声時））
Hi-Fiダイナミックレンジ	90dB以上
音声周波数特性	50Hz/12kHz（ノーマル音声） 20Hz～20kHz（Hi-Fi音声）

松下電器産業株式会社 ビデオシステム事業部

〒571 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)901-1161